



トヨタ ウェルキャブシリーズ



ウェルキャブ 助手席リフトアップシート車 取 扱 書

よくお読みになってご使用ください。
取扱書は車の中に保管しましょう。

PRIUS α



1 安全・安心のために

お客様に必ずお読みいただきたいこと

2 助手席リフトアップシート

助手席リフトアップシートに関する説明

3 手動車いす用
固定装置・収納装置
(電動式)

手動車いす用固定装置・収納装置に関する説明

4 万一の場合には

故障したときや、緊急時などの対処

5 点検・整備項目

定期点検整備についての説明

イラスト目次	4
本書の見方	6

1 安全・安心のために

1-1. 安全なドライブのために	
助手席リフトアップシートについて	8
車いす・手動車いす用収納装置（B タイプ）の固定について	13
補機バッテリーについて	14

2 助手席リフトアップシート

2-1. 助手席リフトアップシート	
助手席リフトアップシートの調整	16
ヘッドレスト	18
アームレスト（SRS サイドエアバッグ非装着車）	20
フットレスト	21
正しい乗車姿勢	22
ワイヤレスリモコン	23

2-2. 操作のしかた

助手席リフトアップシートの操作をするときは	26
助手席リフトアップシートを車外に出すときは	32
助手席リフトアップシートを車内にもどすときは	35
シート昇降スイッチでの操作	37

3 手動車いす用固定装置・収納装置（電動式）

3-1. 準備

車いすの収納・固定前の準備	40
---------------------	----

3-2. 車いすの収納・固定（A タイプ）

収納のしかた（A タイプ）	43
ラゲージルーム外への出しかた（A タイプ）	47

3-3. 車いすの収納・固定（B タイプ）

収納のしかた（B タイプ）	50
ラゲージルーム外への出しかた（B タイプ）	62

3-4. ラゲージルーム内装備

デッキボードを開閉するときは	70
----------------------	----

4 万一の場合には

4-1. 故障かな？とお考えになる前に

ヒューズの交換	74
助手席リフトアップシートが動かないときは	77
ワイヤレスリモコンの電池交換	78
手動車いす用収納装置（電動式）が動かないときは（B タイプ）	80

4-2. 緊急時の対処法

助手席リフトアップシートが車外に出た状態で動かないときは	81
------------------------------------	----

5 点検・整備項目

5-1. 点検・整備項目

定期点検整備 96

さくいん

こんなときは

(症状別さくいん) 98

車から音が鳴ったときは

(音さくいん) 100

五十音順さくいん 102

1

2

3

4

5

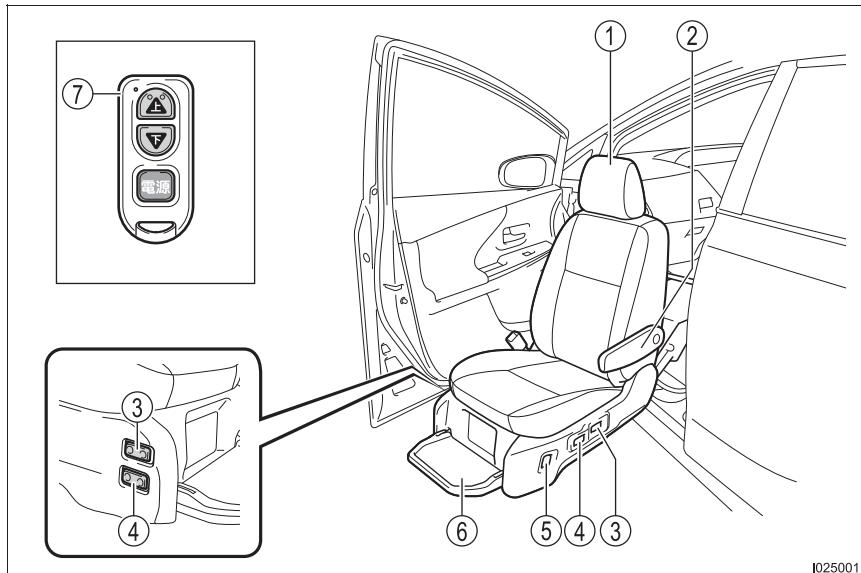
本書はウェルキャブ 助手席リフトアップシート車の装備について記載しています。

車両全体の取り扱い方法や注意事項などは、必ず別冊の標準車取扱書をお読みください。

ただし、ウェルキャブ装備により、お車と標準車取扱書の仕様や機能が一致しない場合がありますのでご了承ください。

イラスト目次

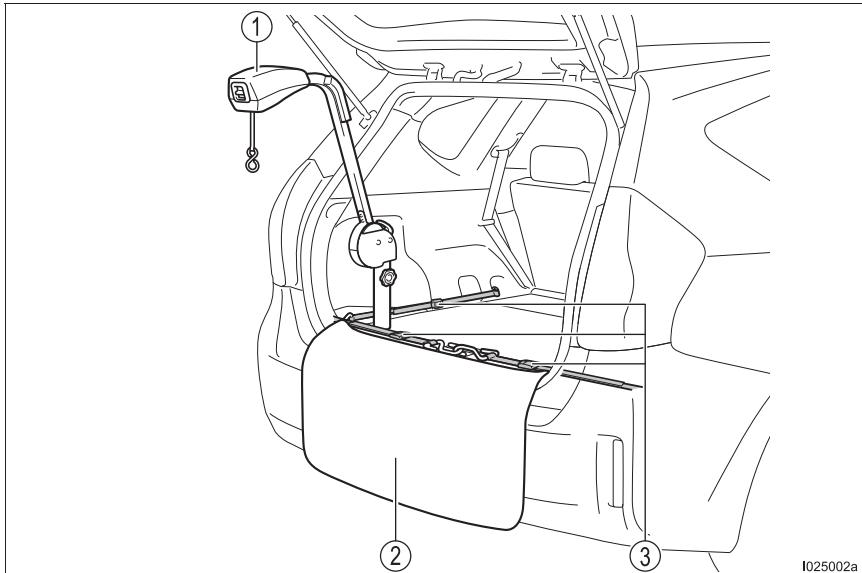
■助手席リフトアップシート



① ヘッドレスト	P. 18
② アームレスト (SRS サイドエアバッグ非装着車)	P. 20
③ シートリクリайнイングスイッチ	P. 16
④ シート前後スライドスイッチ	P. 16
⑤ シート昇降スイッチ	P. 37
リセットについて	P. 81
⑥ フットレスト	P. 21
⑦ ワイヤレスリモコン	P. 23
助手席リフトアップシートを車外に出すときは	P. 32
助手席リフトアップシートを車内にもどすときは	P. 35
電池交換	P. 78

■ 手動車いす用固定装置

■ 手動車いす用収納装置（電動式）（B タイプ）



- ① 手動車いす用収納装置（電動式）（B タイプ）..... P. 51, 63
② ガードマット P. 43, 47, 50, 62
③ 車いす固定ベルト
 固定のしかた P. 45, 56
 解除のしかた P. 44, 47, 52, 64

本書の見方

⚠ 警告

お守りいただかないと、お客様自身と周囲の人々が死亡、または重大な傷害につながるおそれがあることを説明しています。

⚠ 注意

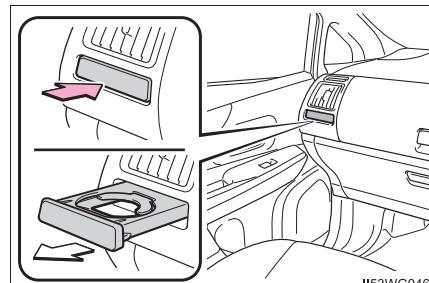
お守りいただかないと、車や装備品の故障や破損につながるおそれがあることを説明しています。

1 2 3

操作・作業の手順を示しています。番号の順に従ってください。

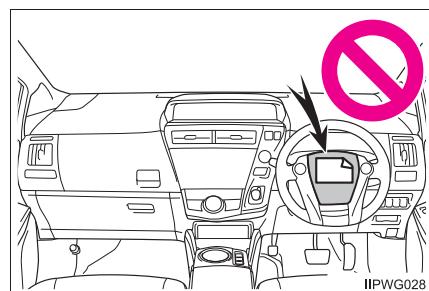
➡ 押す・まわすなど、していただきたい操作を示しています。

➡ フタが開くなど、操作後の作動を示しています。



➡ 説明の対象となるもの・場所を示しています。

🚫 “してはいけません” “このようにしないでください” “このようなことを起こさないでください” という意味です。



□ 知識

機能や操作方法の説明以外で知っておいていただきたい、知っておくと便利なことを説明しています。

安全・安心のために ～必ずお読みください～

1

1-1. 安全なドライブのために	
助手席リフトアップシートについて	8
車いす・手動車いす用収納装置（Bタイプ）の固定について	13
補機バッテリーについて	14

助手席リフトアップシートについて

本書におけるウェルキャブ 助手席リフトアップシート車独自の操作はすべて介助の方が行ってください。

この項目では、助手席リフトアップシートについて、必ず守っていただきたいことをまとめてあります。

⚠️ 警告

■操作および車いすを収納するときは

不整地や傾斜地で操作しないでください。
車いす・助手席リフトアップシートからの転落や、車いす収納時に車いすが傾いて体や車両にあたるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- ① 平坦な場所で操作
- ② パーキングブレーキを確実にかける
- ③ シフトポジションを P にする



■操作する前に

必ず助手席ドアを全開にしてください。
全開にしないと助手席リフトアップシート操作時、助手席リフトアップシート乗車の方の手足が助手席ドアと接触し、けがをするおそれがあります。

また、フットレストとドアトリムがあたり、損傷するおそれがあります。





■ チャイルドシートの装着禁止

助手席リフトアップシートにチャイルドシートを装着しないでください。
装置の破損や、お子さまが重大な傷害におよぶか、最悪の場合死につながるおそれがあります。



■ 操作するときは

- 正しい姿勢で乗車してください。 (→ P. 22)
- 乗員の体が車両に接触しないように、十分な安全確認をしてください。
助手席リフトアップシートを回転・昇降させるとときに、頭や手足をドア開口部にあてるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

- ① ドア開口部と頭部の接触に注意する
- ② インストルメントパネルに足をぶつけないように注意する
- ③ ドア開口部と助手席リフトアップシートのすき間に挟まれないように注意する
- ④ インストルメントパネルと助手席リフトアップシートのすき間に挟まれないように注意する
- ⑤ ドアと足の接触に注意する



* イラストはアームレスト無シート装着車です。

- フットレストの上で立ち上がらないでください。
フットレストが破損したり、フットレストから落ちてけがをするおそれがあります。



警告

■操作するときは

助手席リフトアップシート作動時、助手席リフトアップシートの下および周辺に手足や荷物を入れないでください。

手足を挟まれかがをしたり、荷物やリフトアップシートを損傷するおそれがあります。



■助手席リフトアップシートを車内に格納したときは

助手席リフトアップシートが確実に格納されているか確認してください。

確実に格納されていないと、助手席リフトアップシートが不意に動いて思わぬ事故につながるおそれがあります。

正常格納時：格納完了時、“ピピッ”とブザーが鳴ります。

異常格納時：格納不良のまま助手席ドアを閉めると“ピーピー”という断続音が鳴ります。

異常格納時は、ワイヤレスリモコンの電源を入れ、シート上昇スイッチ（またはシート昇降スイッチの上側）を押し続け、格納を完了させてください。

格納不良のままだと補機バッテリーあがりの原因にもなります。



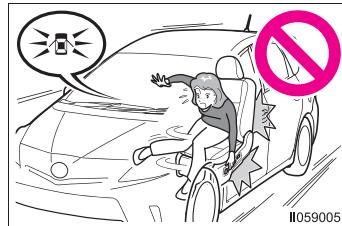


警告

■走行する前の安全確認

半ドア状態のまま走行しないでください。
半ドア状態のまま走行して、シート昇降スイッチにふれたり操作すると、助手席リフトアップシートが動き、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

走行する前に半ドア警告灯が消灯し、すべてのドアが確実に閉まっていることを確認してください。



II059005

■強風時の助手席ドアについて

強風時、助手席ドアが閉まることがあります。助手席ドアが助手席リフトアップシートおよび乗員にあたり、けがをするおそれがありますので、注意してください。



II059006

■助手席リフトアップシート乗員のシートベルトの着用

走行前に必ずシートベルトを正しく着用してください。(→標準車取扱書『シートベルト』)

正しく着用しないと、急ブレーキをかけたときや衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を發揮せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

シートベルトを着用した状態ではスイッチを押しても助手席リフトアップシートは回転・下降作動しません。



II059007

* イラストはアームレスト付シート装着車です。

 **警告****■SRS サイドエアバッグについて（アームレスト無シート装着車）**

アームレスト無シート装着車には、SRS サイドエアバッグが装着されています。

SRS サイドエアバッグの詳細については、標準車取扱書の『SRS エアバッグ』をお読みください。

助手席リフトアップシートの装着部品は標準車の装着部品とは異なります。

車いす・手動車いす用収納装置（B タイプ）の固定について

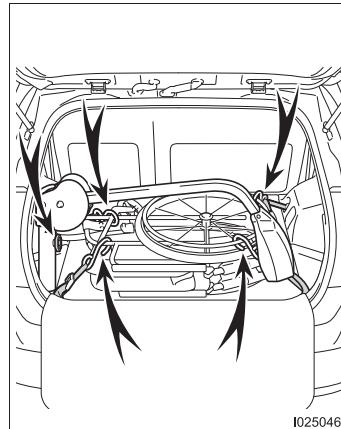
車いす・手動車いす用収納装置の固定について、必ず守っていただきたいことをまとめてあります。

⚠ 警告

■車いす・手動車いす用収納装置の固定確認

確実に固定されているか確認してください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに車いすが車室内にとび込んだり、車いすや手動車いす用収納装置のアームが動いて車両や車いすが損傷するなど、重大な事故につながるおそれがあり危険です。

また、車いす固定ベルトにねじれがないことも確認してください。



補機バッテリーについて

補機バッテリーについて、必ず守っていただきたいことをまとめてあります。

知識

■補機バッテリーの取り扱いについて

助手席リフトアップシート操作中に補機バッテリーを取りはずさないでください。

助手席リフトアップシートが作動しなくなります。

助手席リフトアップシート操作中に補機バッテリーの交換またははずしたときは、補機バッテリーの接続状態を確認し、リセット操作をしてください。

(→ P. 81)

助手席リフトアップシート

2

2-1. 助手席リフトアップシート

助手席リフトアップシートの 調整	16
ヘッドレスト	18
アームレスト (SRS サイドエアバッグ 非装着車)	20
フットレスト	21
正しい乗車姿勢	22
ワイヤレスリモコン	23

2-2. 操作のしかた

助手席リフトアップシートの 操作をするときは	26
助手席リフトアップシートを 車外に出すときは	32
助手席リフトアップシートを 車内にもどすときは	35
シート昇降スイッチでの 操作	37

助手席リフトアップシートの調整

- ① 前後位置調整
(シート前後スライドスイッチ)
- ② リクライニング調整
(シートリクライニングスイッチ)



□ 知識

■ 作動条件について

助手席リフトアップシートが車内に正常格納されている状態以外では、前後位置調整・リクライニング調整はできません。

■ 助手席リフトアップシートの前後スライド量について

回転開始位置から前方に 80mm 移動することができます。

■ シートアレンジについて

助手席リフトアップシートはフラットシートにすることはできません。

⚠ 警告

■ リクライニング調整について

- 走行中は背もたれは必要以上に倒さないでください。

事故のときに体がシートベルトの下にもぐり、腹部などに強い圧迫を受けるなど生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

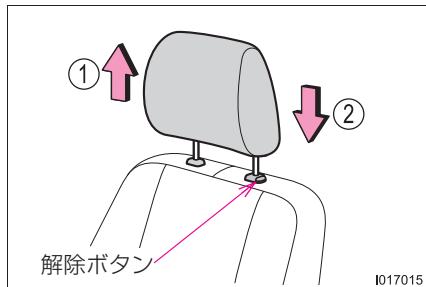


- 助手席リフトアップシートの背もたれをうしろ側に倒すときは、助手席側セカンドシートにあたらないことを確認しながら行ってください。
手を挟んだけがをしたり、ものを挟んで破損したり、助手席リフトアップシートの背もたれと助手席側セカンドシートがあたり、破損するおそれがあります。

ヘッドレスト

- ① 上げる
- ② 下げる

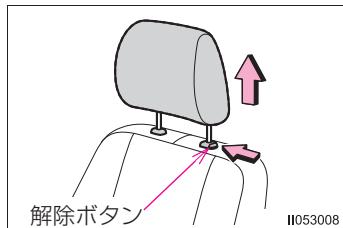
下げるときは、解除ボタンを押しながら操作します。



知識

■ヘッドレストを取りはずすときは

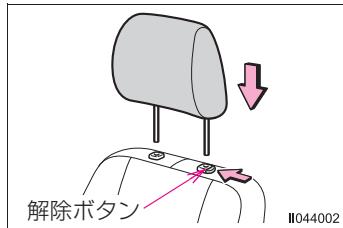
解除ボタンを押しながら取りはずします。



■ヘッドレストを取り付けるときは

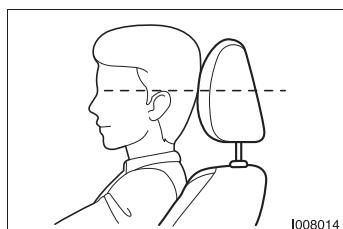
ヘッドレストを取り付け穴に合わせて、ロック位置まで押し下げてください。

さらに下げるときは、解除ボタンを押しながら操作してください。



■ヘッドレストの高さについて

必ずヘッドレストの中心が両耳のいちばん上のあたりになるように調整してください。





警告

■ ヘッドラストについて

次のことをお守りください。

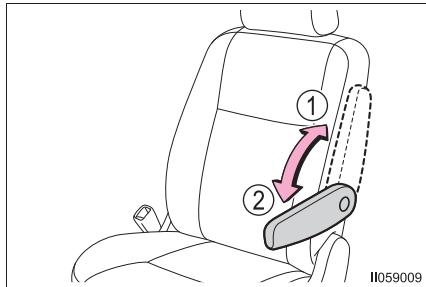
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ヘッドラストは、それぞれのシート専用のものを使用する
- ヘッドラストを正しい位置に調整する
- ヘッドラストを調整したあとは、ヘッドラストを押し下げて固定されていることを確認する
- ヘッドラストをはずしたまま走行しない

アームレスト (SRS サイドエアバッグ非装着車)

助手席リフトアップシートの回転および昇降操作は、アームレストをいっぱいまで下げる状態で行います。

- ① 上げる
- ② 下げる



□ 知識

■ シートベルトの着用について

アームレストを上げた状態にすると、シートベルトの着用が容易になります。

⚠ 警告

■ シートベルトを着用するときは

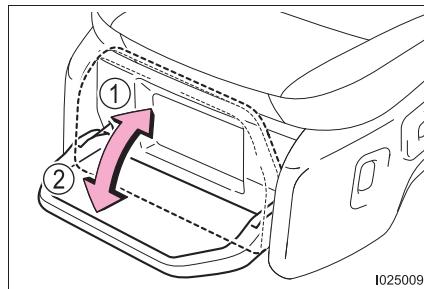
シートベルトは腰部ベルトをアームレストの下に通して正しく着用してください。
アームレストにかかった状態で着用すると、急ブレーキをかけたときや衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
(→ P. 11)



フットレスト

助手席リフトアップシートの回転および昇降操作は、フットレストをいっぱいまで下げる状態で行います。

- ① 上げる
- ② 下げる

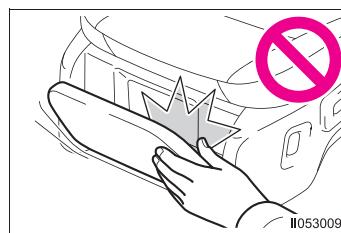


警告

■ フットレストを操作するときは

必ずフットレスト先端部を持って操作してください。

回転部近くを持つと指などを挟みけがをするおそれがあります。



正しい乗車姿勢

次のように正しい姿勢で乗車してください。

- ① 両ひざをそろえて助手席リフトアップシートの内側に収まるよう座る
- ② アームレスト無シート装着車：両腕を助手席リフトアップシートの内側に収まるようにする
アームレスト付シート装着車：アームレストを下げ左腕をアームレストの内側におき、右腕を助手席リフトアップシートの内側に収まるようにする
- ③ フットレストを下げ、両足をフットレストにのせる
フットレストに足をのせることができない場合は、足が助手席リフトアップシートとボデーのあいだで挟まれないように介助の方が支えてください。



* イラストはアームレスト付シート装着車です。

⚠ 警告

■ 乗車のときは

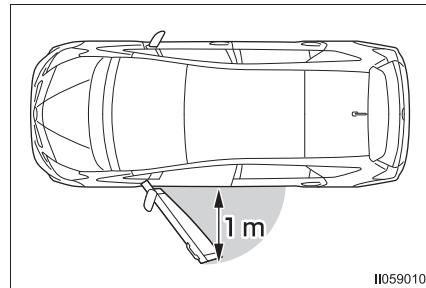
- 助手席リフトアップシートに深く着座できない方、ひざや首が曲がらない方の場合は、足や頭がボデーにあたり、座った状態での助手席リフトアップシートの回転が困難になりますので、ご注意ください。
- フットレストの上で立ち上がらないでください。
フットレストが破損したり、フットレストから落ちてけがをするおそれがあります。

ワイヤレスリモコン

ワイヤレスリモコンで助手席リフトアップシートの回転、および昇降操作ができます。

作動可能範囲

助手席リフトアップシートから約1m

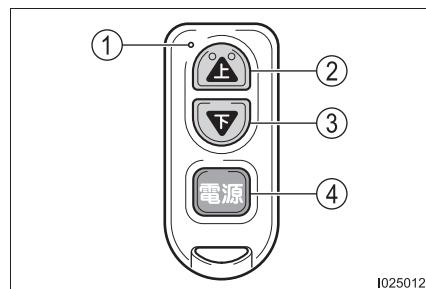


2

助手席リフトアップシート

各部の名称

- ① 動作表示 LED
- ② シート上昇スイッチ
- ③ シート下降スイッチ
- ④ 電源スイッチ



□ 知識

■ 作動条件について

- ワイヤレスリモコンは、周囲の状況により作動可能範囲がかわることがあります。
- 周囲の電波状況により、シート下降スイッチまたはシート上昇スイッチを押しても助手席リフトアップシートが一時的に停止する場合や、作動しなくなることがあります。そのときは次のことを行ってください。
 - ・ 立つ位置をかえて操作する
その際、スイッチは押し直してください。押し続けたまま立つ位置をかえても助手席リフトアップシートは作動しません。
 - ・ シート昇降スイッチで操作する (→ P. 37)
- 助手席側ガラスに次の物を貼り付けると、受信機への電波がさえぎられて受信感度が低下し、作動可能距離が短くなるおそれがあります。
 - ・ 金属を含有するウインドウフィルム
 - ・ その他の金属物（トヨタ純正品以外のアンテナなど）

■ ワイヤレスリモコンについて

- ワイヤレスリモコンは電波法の認証に適合しています。必ず次のことをお守りください。
 - ・ 電池交換時以外は、不用意に分解しないでください。分解、改造したものを使用することは法律で禁止されています。
 - ・ 必ず日本国内でご使用ください。
- ワイヤレスリモコンの送信機もしくは受信機のどちらかのみを交換したときは、ID コードを登録する必要があります。登録はトヨタ販売店にお申し付けください。

■ 電池について

- 電池寿命は約 1 年間です（1 回の操作時間を 30 秒、1 日の操作回数を 20 回で計算した場合）。ただし、電池寿命は実際の使用状況によってかわります。
- ワイヤレスリモコンを操作しても助手席リフトアップシートが作動しない場合や、著しく作動可能距離が短くなった場合、または動作表示 LED が点灯しなくなったり、点滅しなくなった場合は、電池の消耗が考えられます。電池を交換してください。電池はお客様自身で交換できます。（→ P. 78）

■ 航空機に乗るときは

航空機にワイヤレスリモコンを持ち込む場合は、航空機内でワイヤレスリモコンのスイッチを押さないでください。また、かばんなどに保管する場合でも、簡単にスイッチが押されないように保管してください。スイッチが押されると電波が発信され、航空機の運行に支障をおよぼすおそれがあります。

⚠️ 警告

■ 電波がおよぼす影響について

医療用電気機器（以下を除く）を使用される場合は、電波による影響について医療電気機器製造業者などに事前に確認してください。電波により医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

- 植込み型心臓ペースメーカー
- 植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータ
- 植込み型除細動器

■ ワイヤレスリモコンを使用するときは

安全に使用していただくため、次のことを必ずお守りください。

- 乗員の体が見える位置で、助手席リフトアップシート乗車の方の頭・腕・足などがボーダーと挟まれていないことを確認できる距離で操作する
- 助手席リフトアップシートまたは助手席リフトアップシート乗車の方に手を添えるなどして操作する

⚠️ 注意

■ 故障を防ぐために

- ワイヤレスリモコンは電子部品のため、次のことを必ずお守りください。
 - ・ ダッシュボードの上など、直射日光のあたる場所および高温になるところに置かない
 - ・ 分解しない
 - ・ 落としたり、踏むなどの強い衝撃を与えない
 - ・ 飲み物などをこぼしたり、水たまりなど、水中に落下させない
(防滴構造ですが、できるだけ水にぬらさないでください)
- ワイヤレスリモコンの清掃にシンナー、ガソリン、ベンジンなどの溶剤を使用しないでください。
表面が変形するおそれがあります。清掃するときは、水またはぬるま湯を布などに含ませ、固くしぼってからふいてください。

助手席リフトアップシートの操作をするときは

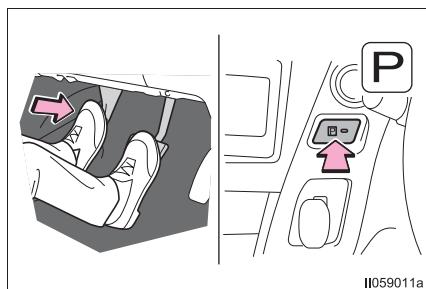
助手席リフトアップシートは、シートを回転・昇降させ、車内外へ出し入れすることができます。

操作はすべて介助の方が行ってください。

格納後は助手席リフトアップシートを前後左右にゆすり、シートが確実に格納されたことを確認してください。

助手席リフトアップシートを操作する前に

- 1 安全で平坦な場所にハイブリッドシステムを作動状態のまま停車し、パーキングブレーキをかけ、シフトポジションをPにする

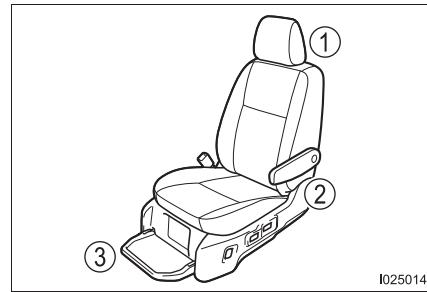


II059011a

- 2 助手席ドアを全開にする
- 3 助手席リフトアップシートの周囲および作動範囲内に、人や荷物がないことを確認する
- 4 助手席リフトアップシートのシートベルトをはずす

5 助手席リフトアップシートを回転・昇降するときは、助手席リフトアップシートを次の状態に調整する

- ① ヘッドレストをいちばん下げる位置にする
- ② アームレスト付シート装着車：アームレストをいちばん下げる位置にする
- ③ フットレストをいちばん下げる位置にする



* イラストはアームレスト付シート装着車です。

6 室内装備が次の状態になっていることを確認する

- ・グローブボックスのフタが閉まっていること
- ・コンソールボックスのフタが閉まっていること
- ・コンソール部のカップホルダーが使用されていないこと
- ・オーバーヘッドコンソールボックスのフタが閉まっていること
- ・助手席前カップホルダーが格納されていること
- ・サンバイザーが格納されていること

 **知識**
■ ブザーについて

動作や状況に応じて次のようにブザーが鳴ります。

ブザー		動作・状況
ピーッ		ワイヤレスリモコンまたはシート昇降スイッチを押して助手席リフトアップシートが作動するとき
ピピッ		シート上昇スイッチを押して助手席リフトアップシートが格納完了したとき
警 告 時	ピー…*	助手席ドアを閉めたままシート下降スイッチを押したとき
	ピーピー…	助手席リフトアップシートでシートベルトを着用したままシート下降スイッチを押したとき
	ピピピッ	助手席リフトアップシートが完全に格納されていない状態で、助手席ドアを閉めたとき
		助手席リフトアップシートが作動中、障害物にあたるなど助手席リフトアップシートの作動がさまたげられたとき

* スイッチを押しているあいだ、鳴り続けます。

 **警告**
■ チャイルドシートの装着禁止

→ P. 9

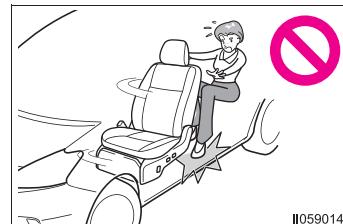
■ 強風時の助手席ドアについて

→ P. 11

⚠ 警告

■助手席リフトアップシートを操作する前に

- 助手席リフトアップシートに深く着座できない方、ひざや首が曲がらない方の場合は、足や頭がボディにあたり、座った状態での助手席リフトアップシートの回転が困難になりますのでご注意ください。
- 助手席リフトアップシート作動時、頭上や手足に注意してください。頭をドア開口部にあてたり、ひざや腕をインストルメントパネルやドア開口部にあて、けがや思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 必ず平坦な場所でパーキングブレーキを確実にかけ、シフトポジションをPにしてください。(→ P. 8)
車いすや助手席リフトアップシートから転落するなど思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 必ず助手席側セカンドシートの同乗者の安全を確認してください。
助手席リフトアップシートを操作するとき、助手席リフトアップシートと車両のあいだに足を挟まるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。



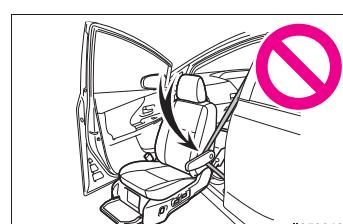
II059014

- 必ず助手席ドアを全開にしてください。
全開にしないと助手席リフトアップシート操作時、助手席リフトアップシート乗車の方の手足が助手席ドアと接触し、けがをするおそれがあります。
また、フットレストとドアトリムがあたり、損傷するおそれがあります。



II059002

- 助手席リフトアップシートのシートベルトが確実にはずしてあることを確認してください。アームレスト付シート装着車にお乗りの方は、シートベルトがアームレストに引っかかっていないことを確認してください。シートベルトがアームレストに引っかかったまま助手席リフトアップシートを操作すると、シートベルトが体にかかるてけがをしたり、助手席リフトアップシートが故障するおそれがあります。



II059012

※ イラストはアームレスト付シート装着車です。

⚠ 警告

■助手席リフトアップシートを操作するときは

- 助手席リフトアップシート乗員の方の頭上や手足に注意してください。
頭をドア開口部にあてたり、ひざや腕をインストルメントパネルやドア開口部にあて、けがや思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。 (→ P. 9)



- 助手席リフトアップシート作動時、助手席リフトアップシートの下および周辺に手足や荷物を入れないでください。
手足を挟まれけがをしたり、荷物やリフトアップシートを損傷するおそれがあります。 (→ P. 10)
- アームレスト付シート装着車にお乗りの方は、アームレストをいちばん下げた位置で使用してください。 (→ P. 20)
正しく使用しないと乗車姿勢が不安定になったり転落のおそれがあります。 (→ P. 22)
- フットレストの上で立ち上がらないでください。
フットレストが破損したり、フットレストから落ちてけがをするおそれがあり危険です。
- グローブボックス、コンソールボックスのフタおよび助手席前カップホルダーを閉めてください。
助手席リフトアップシート乗車の方の手足がフタにあたってけがをしたり、フタが破損するおそれがあります。
- オーバーヘッドコンソールボックスのフタを閉めてください。
助手席リフトアップシート乗車の方の頭がフタにあたってけがをしたり、フタが破損するおそれがあります。
- サンバイザーを格納してください。
サンバイザーに頭やヘッドレストをあてるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。
- アシストグリップを持って立ち上がったり、ぶら下がらないでください。アシストグリップが破損し、転落するおそれがあり危険です。

⚠ 注意

■ 損傷などを防ぐために

- 助手席リフトアップシートを操作する前に、可動部周辺に障害物がないことを確認してください。
- 必ずヘッドレストはいちばん下げた位置で使用してください。
ヘッドレストとピラーおよびインナーミラーがあたり、ヘッドレストやインナーミラーを損傷するおそれがあります。
- アームレストは、いちばん下げた位置で使用してください。(→ P. 20)
アームレストとインストルメントパネルがあたり、アームレストやインストルメントパネルを損傷するおそれがあります。
- 助手席リフトアップシートのリフト能力100kgをこえないようにしてください。
助手席リフトアップシートが故障するおそれがあります。
- グローブボックス、およびコンソールボックスのフタを閉じてください。
助手席リフトアップシートとフタがあたり、破損するおそれがあります。
- 助手席前のカップホルダーを格納してください。
助手席リフトアップシートの背もたれとカップホルダーがあたり、破損するおそれがあります。
- コンソール部のカップホルダーが使用されていないことを確認してください。
助手席リフトアップシートとカップホルダーに置いたものがあたり損傷するおそれがあります。

■ 補機バッテリーあがりを防ぐために

助手席リフトアップシートを操作するときは、ハイブリッドシステムを始動しておいてください。

ハイブリッドシステムを停止した状態で操作すると、補機バッテリーあがりの原因となります。また、補機バッテリーの充電が不足しているときにハイブリッドシステムを停止した状態で助手席リフトアップシートを操作すると、助手席リフトアップシートが作動中に停止することがあります。

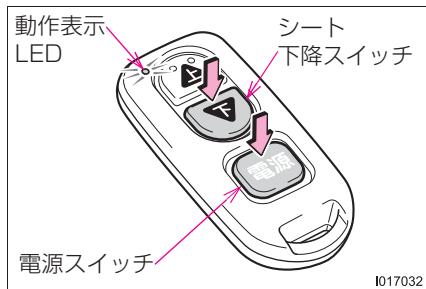
助手席リフトアップシートを車外に出すときは

① 操作前に、次の状態を確認する

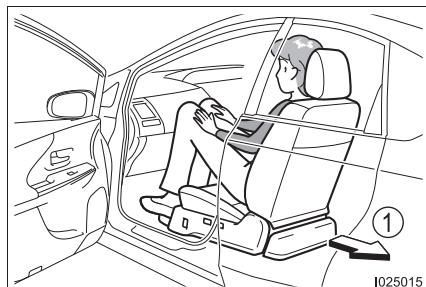
- ・助手席リフトアップシートに乗車している方が正しい乗車姿勢であること
(→ P. 22)
- ・助手席リフトアップシートでシートベルトを着用していないこと
- ・助手席リフトアップシートおよび車両の状態 (→ P. 26)
- ・助手席側セカンドシート同乗者の安全 (→ P. 29)

② ワイヤレスリモコンの電源スイッチを押し、動作表示 LED が赤色点灯中 (6 秒以内) にシート下降スイッチを押し続け、助手席リフトアップシートを回転・下降させる

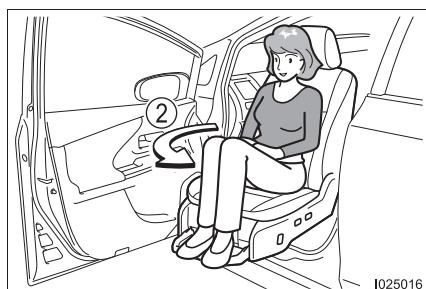
シート昇降スイッチで操作することもできます。
(→ P. 37)



- ① “ピーッ”とブザーが鳴り、回転開始位置まで助手席リフトアップシートが動きます。
動作表示 LED が緑色に点滅します。

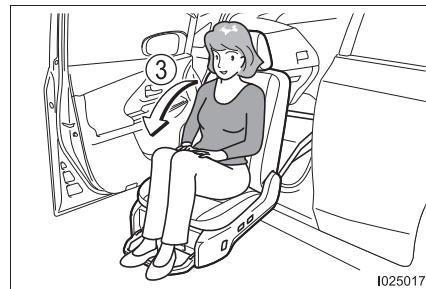


- ② 助手席リフトアップシートが回転しながら車両前方に移動します。



- ③ 助手席リフトアップシートが車外へスライドし、下降します。

いっぽいまで下降し、背もたれが起き自動的に停止したらスイッチから指を離します。



□ 知識

■ 作動条件について

次の場合はシート下降スイッチを押すと、“ピー…”とブザーが鳴り、助手席リフトアップシートは回転および下降しません。（→ P. 28）

- 助手席ドアが閉まっている
- 助手席リフトアップシートでシートベルトを着用している

■ ワイヤレスリモコンについて

- 電源スイッチを押してから 6 秒以内にシート上昇スイッチまたはシート下降スイッチを押し続けないと、自動的に電源が切れます。（動作表示 LED 消灯）シート上昇スイッチまたはシート下降スイッチを操作すると、電源はスイッチから指を離した時点より 6 秒延長します。
- シート上昇スイッチまたはシート下降スイッチを押し、“ピーッ”とブザーが鳴ってから作動します。
断続的にスイッチを押しても助手席リフトアップシートは作動しません。
- 助手席リフトアップシート作動中にシート上昇スイッチまたはシート下降スイッチから指を離すと、助手席リフトアップシートはその位置で停止します。
- 複数のスイッチを同時に押すと、助手席リフトアップシートは作動しません。

■ 作動について

助手席リフトアップシートが作動中、障害物にあたるなど助手席リフトアップシートの作動がさまたげられると、“ピピピッ”とブザーが鳴り、助手席リフトアップシートは少し反転して停止します（→ P. 28）。この場合、乗車の方の手足などが車両にあたっていないことを確認し、障害物を取り除くなどしたあと、ワイヤレスリモコンの電源を入れ、シート上昇スイッチまたはシート下降スイッチを押すと正常な作動にもどります。

⚠ 警告

- 助手席リフトアップシートを操作する前に
→ P. 29
- 助手席リフトアップシートを操作するときは
→ P. 30

⚠ 注意**■ 故障や損傷を防ぐために**

- 断続的にシート下降スイッチまたはシート上昇スイッチを押さないでください。
故障の原因となりますので、スイッチは押し続けてください。
- スイッチの切り替え操作をするときは、約 1 秒以上たってから行ってください。
瞬時に切り替えを行うと、助手席リフトアップシートが故障するおそれがあります。
- 助手席リフトアップシートを車外に出したまま放置しないでください。
特に炎天下・雨天・寒冷時などにおいて、カバー類の変形やモーターなどの凍結、錆び付きなどのおそれがあります。

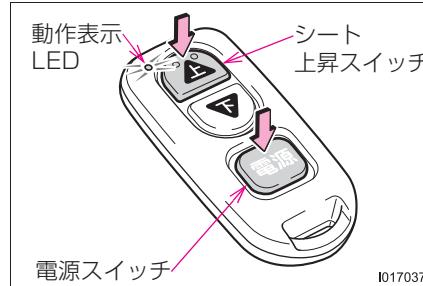
助手席リフトアップシートを車内にもどすときは

1 操作前に、次の状態を確認する

- ・助手席リフトアップシートに乗車している方が正しい乗車姿勢であること
(→ P. 22)
- ・助手席リフトアップシートおよび車両の状態 (→ P. 26)
- ・助手席側セカンドシート同乗者の安全 (→ P. 29)

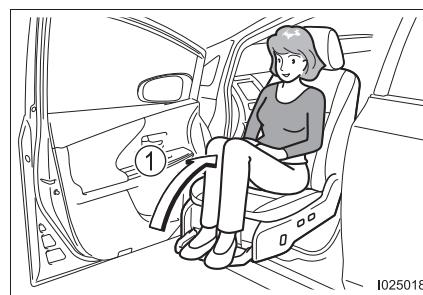
2 ワイヤレスリモコンの電源スイッチを押し、動作表示 LED が赤色点灯中 (6 秒以内) にシート上昇スイッチを押し続け、助手席リフトアップシートを上昇・回転させる

シート昇降スイッチで操作することもできます。(→ P. 37)



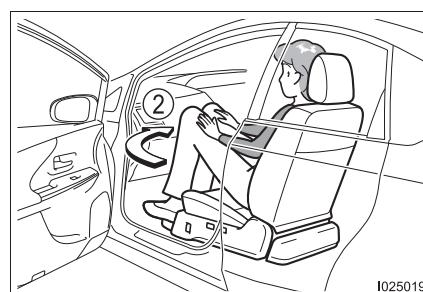
① “ピーッ”とブザーが鳴り、助手席リフトアップシートが上昇・車内へスライドします。

- ・動作表示 LED が緑色に点滅します。
- ・助手席リフトアップシートは上昇・車内へスライド中に車両に接触しないように、背もたれが少し動きます。



② 助手席リフトアップシートが車両後方に移動しながら回転します。

いっぱいまで回転すると、自動的に停止 (完全に格納) し、“ピピッ”とブザーが鳴ってから、スイッチから指を離します。



3 必要に応じて助手席リフトアップシートの調整 (→ P. 16 ~ 21) をし、走行前に必ずシートベルトを着用する

正しくシートベルトを着用していることを介助の方が確認してください。

4 助手席ドアを閉める

ただちに走行しないときは、ハイブリッドシステムを停止してください。

 **知識****■ ワイヤレスリモコンについて**

→ P. 33

■ 作動について

→ P. 33

■ 助手席リフトアップシートを車内に格納したときは

助手席リフトアップシートでシートベルトを着用したとき、または助手席ドアを閉めたときにブザー（“ピピー”という断続音）が鳴った場合は、助手席リフトアップシートの格納が不完全です。（→ P. 28）

助手席ドアを開け、シートベルトをはずした状態でワイヤレスリモコンの電源スイッチを押し、シート上昇スイッチを押し続け、助手席リフトアップシートが自動的に停止し、“ピピッ”とブザーが鳴ったことを確認し、シートベルトの着用および助手席ドアを閉めてください。

 **警告****■ 助手席リフトアップシートを操作する前に**

→ P. 29

■ 助手席リフトアップシートを操作するときは

→ P. 30

■ 助手席リフトアップシートを車内に格納したときは

→ P. 10

■ 走行する前の安全確認

→ P. 11

 **注意****■ 故障を防ぐために**

● 断続的にシート上昇スイッチまたはシート下降スイッチを押さないでください。

故障の原因となりますので、スイッチは押し続けてください。

● スイッチの切り替え操作をするときは、約 1 秒以上たってから行ってください。

瞬時に切り替えを行うと、助手席リフトアップシートが故障するおそれがあります。

シート昇降スイッチでの操作

ワイヤレスリモコンの電池切れ、故障および紛失などにより使用できないときは、シート昇降スイッチを使用して助手席リフトアップシートの回転および昇降操作を行います。

(助手席リフトアップシートの作動は、ワイヤレスリモコンで操作した場合と同じです)

シート昇降スイッチによる操作のしかた

- 助手席ドアを全開にする
- シート昇降スイッチの上側または下側を押し続ける

“ピーッ”とブザーが鳴り助手席リフトアップシートが作動します。

- 上昇・回転する
- 回転・下降する
 - スイッチを押しているあいだ、助手席リフトアップシートが作動します。
 - スイッチから指を離すと、助手席リフトアップシートはその位置で停止します。



II059015

- 助手席リフトアップシートが自動的に停止したらスイッチから指を離す

助手席リフトアップシートを車内にもどすときは、自動的に停止（完全に格納）し“ピピッ”とブザーが鳴ってから、スイッチから指を離します。

 知識

■ シート昇降スイッチについて

助手席リフトアップシートはシート昇降スイッチを押し、“ピーッ”とブザーが鳴ってから作動します。(→ P. 28)

 注意

■ 故障を防ぐために

- 断続的にシート昇降スイッチを押さないでください。
故障の原因となりますので、スイッチは押し続けてください。
- スイッチの切りかえ操作をするときは、約 1 秒以上たってから行ってください。
瞬時に切りかえを行うと、助手席リフトアップシートが故障するおそれがあります。

手動車いす用固定装置・ 収納装置（電動式）

3

3-1. 準備

車いすの収納・固定前の
準備 40

3-2. 車いすの収納・固定 (A タイプ)

収納のしかた (A タイプ) 43
ラゲージルーム外への
出しかた (A タイプ) 47

3-3. 車いすの収納・固定 (B タイプ)

収納のしかた (B タイプ) 50
ラゲージルーム外への
出しかた (B タイプ) 62

3-4. ラゲージルーム内装備

デッキボードを開閉する
ときは 70

車いすの収納・固定前の準備

A タイプと B タイプでは車いすの収納・固定方法が異なります。
お乗りのお車に該当するページをお読みください。

◆ A タイプ：手動車いす用固定装置

→ P. 40、43、47、70

ラゲージルーム内に収納した車いすをベルトで固定できます。

◆ B タイプ：手動車いす用固定装置・手動車いす用収納装置（電動式）

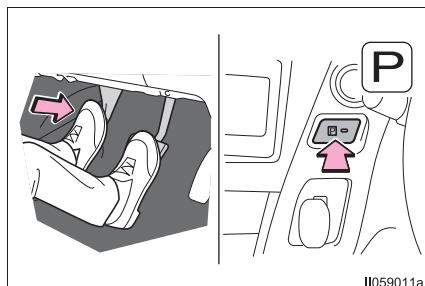
→ P. 40、50、62、70

- ・手動車いす用収納装置は30kgまで吊り上げることができ、車いすのラゲージルーム内への出し入れを補助します。
- ・ラゲージルーム内に収納した車いすをベルトで固定できます。

車いすを出し入れする前に

- 1 安全で平坦な場所に停車し、パークィングブレーキをかけ、シフトポジションを P にする

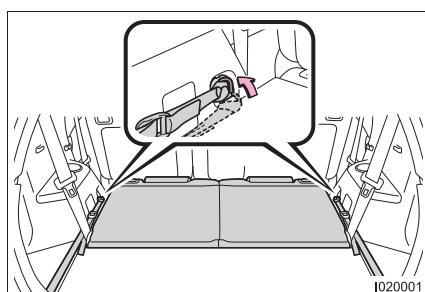
B タイプにお乗りの方は、ハイブリッドシステムを作動状態にしておきます。



- 2 バックドアを全開にする

- 3 7 人乗り車はサードシートを格納する（→標準車取扱書の『サードシート』）

サードシートを格納するときは、前側のデッキフックを格納側に動かしてから行います。



□ 知識

■ 収納可能な車いすのサイズ

収納可能な車いすは次のサイズのものとなります。※¹

全高	全長	折りたたみ幅	重量 ※ ²
			
810mm 以下	1020mm 以下	400mm 以下	30kg 以下

※¹ 各数値は車いすを折りたたみ、サードシートを倒した状態で、セカンドシートのリクライニング機能を使用していない場合のものです。

※² 重量は手動車いす用収納装置での吊り上げが可能な重さです。

■ バックドアについて

全開にしないと、車いす収納時、バックドアと車いすがあたり、車いすの収納が困難になります。

■ 乗車人数について（7人乗り車）

車いすを収納・固定するとき、サードシートを格納状態にするため、乗車人数は5名になります。

⚠ 警告

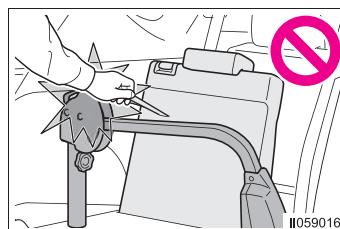
■ 車いすを収納・固定するときは

必ず平坦な場所でパーキングブレーキを確実にかけ、シフトポジションをPにしてください。（→ P. 8）

車いすが傾いて体や車体にあたるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

■ 助手席側サードシートの背もたれを起こすときは

7人乗り車は、助手席側サードシートの背もたれを起こすとき注意してください。シートバックストラップを引く際に、手動車いす収納装置に手が近づくため手を挟み、けがをするおそれがあります。（Bタイプのみ）



 **注意****■損傷を防ぐために**

- 車いすを収納する前にラゲージルーム内に荷物がないことを確認してください。
車いすの収納が困難になるばかりでなく、荷物や車いすを損傷するおそれがあります。
- 7人乗り車は、助手席側サードシートの背もたれを後方に倒しすぎないでください。助手席側サードシートが手動車いす収納装置と干渉し、損傷するおそれがあります。(Bタイプのみ)

■補機バッテリーあがりを防ぐために (Bタイプ)

- 手動車いす用収納装置の操作をするときは、ハイブリッドシステムを始動しておいてください。
ハイブリッドシステムを停止した状態で操作すると、補機バッテリーあがりの原因となります。

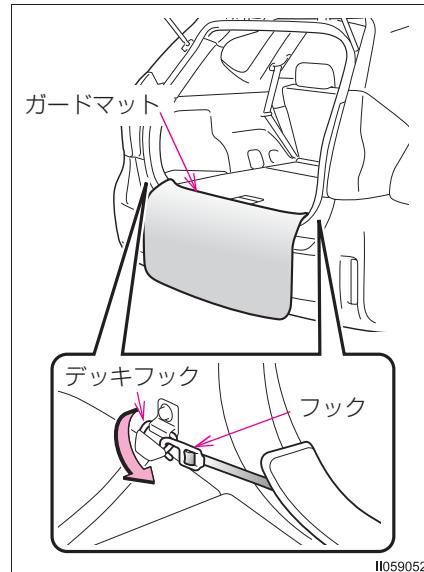
収納のしかた (A タイプ)

車いすを収納するときは次のように行ってください。

車いすをラゲージルーム内に入れるときは

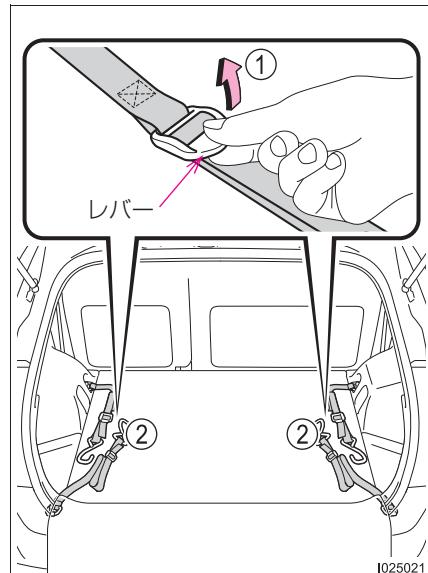
1 ガードマットのフックをラゲージルーム内のデッキフックに引っかける

- ガードマットがバンパーを覆うようにフックのベルトの長さを調整します。
- 車いす収納時、バンパーの傷付きを防止します。



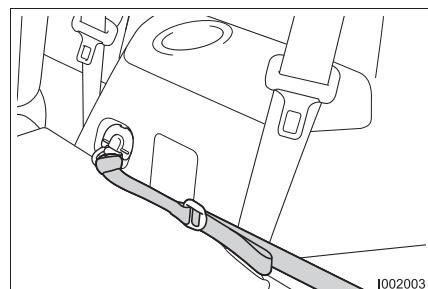
- 2 車いす固定ベルトをゆるめて、ラゲージルーム内中央に何も置かれていない状態にする

- ① すべての車いす固定ベルトのバックルのレバーを引き上げ、車いす固定ベルトをゆるめる
- ② 車いす固定ベルトはラゲージルームのすみによけておく



I025021

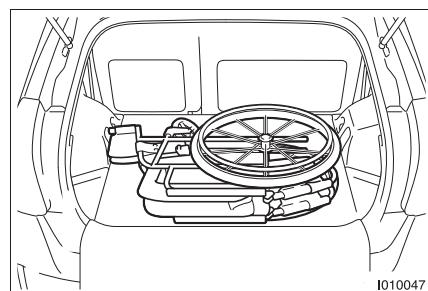
- 3 7人乗り車は、前側の車いす固定ベルトをサードシート用のシートベルトの内側に取りまわす



I002003

- 4 車いすのブレーキを両輪ともかけ、車いすを折りたたんだ状態で収納する

ラゲージルーム床面（7人乗り車は格納したサードシートの上）に、車いすを寝かせた状態で収納します。



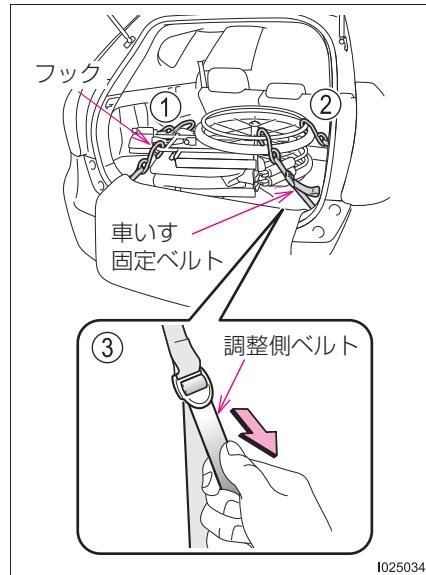
I010047

車いすの固定のしかた

車いす固定ベルトを使用して車いすを固定します。

ベルトのフックは次の場所を目安に引っかけてください。

- ① 左側のフック 2 本を車いすのフレームに引っかける
- ② 右側のフック 2 本を車いすの後輪のハンドリムに引っかける
- ③ 調整側ベルトを引っ張り、車いすを確実に固定する (4 本とも)



I025034

3

固定後、走行する前に

- 1 ガードマットをラゲージルーム内に収納する

ガードマットは、デッキフックに引っかけたまま収納するか、取りはずしてください。

- 2 バックドアを閉める

バックドアを閉めるときは、車いすを挟み込まないこと、および車いすの手押しハンドルなどがバックドアにあたらないことを確認しながら、ゆっくりと閉めてください。

 知識

■車いす固定ベルトについて

車いすを収納するときは、車いす固定ベルトをラゲージルーム内中央に放置しないでください。車いす収納時、車いすの下敷きになり、車いす固定ベルトの操作が困難になります。

■車いすについて

ハンドル、ステップが折りたためる車いすをお使いの場合、それらを折りたたむことにより車いすの収納が容易になります。

 警告

■車いすを収納するときは

手などを挟んだり、車いすや車両に体があたらないように注意してください。

■車いすを固定したときは

固定後、車いすを前後左右にゆすり確実に固定されていることを確認してください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに車いすが車室内にとび込み、重大な事故につながるおそれがあり危険です。

 注意

■車いすを固定するときは

●固定後、車いすを前後左右にゆすり確実に固定されていることを確認してください。

確実に固定されていないと、走行中、車いすがセカンドシートやバックドアなどにあたり、車いすや車両を損傷するおそれがあります。

●車いす固定ベルトにねじれがないこと、鋭利な角部にあたっていないことを確認してください。

車いす固定ベルトを正しくかけないと、車いす固定ベルトが切れるおそれがあります。

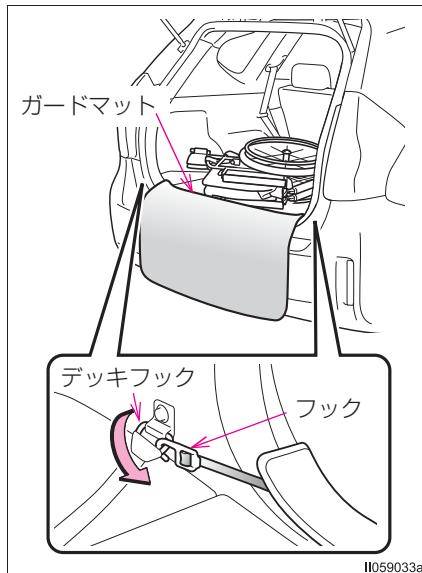
●車いす固定後、セカンドシートを操作するときは、固定した車いすにあてないように注意してください。セカンドシートや車いすが損傷するおそれがあります。

ラゲージルーム外への出しかた (A タイプ)

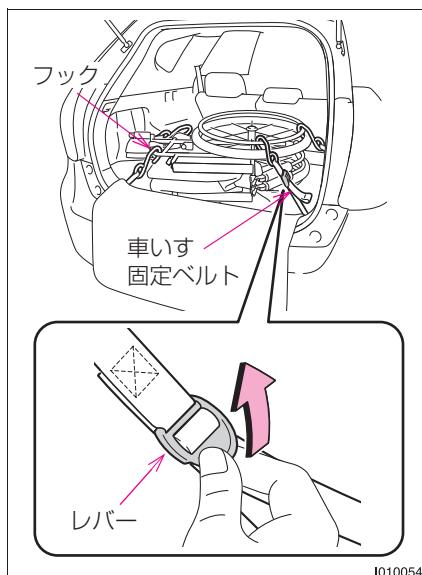
車いすをラゲージルーム外に出すときは次のように行ってください。

車いすをラゲージルーム外に出すときは

- 1 ガードマットのフックをラゲージルーム内のデッキフックに引っかける**
- ガードマットがバンパーを覆うようにフックのベルトの長さを調整します。
 - 車いすをラゲージルーム外に出すときに、バンパーの傷付きを防止します。

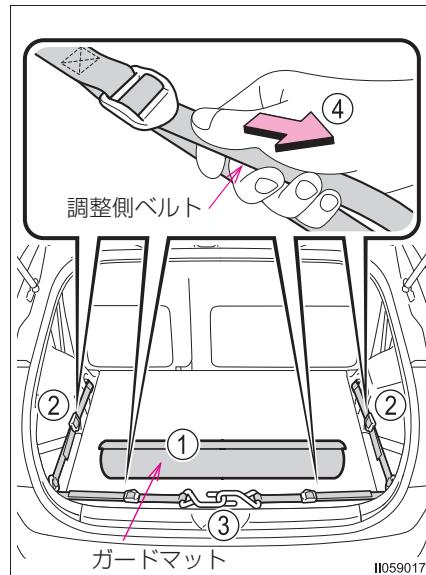


- 2 車いす固定ベルトのバックルのレバーを引き上げ、車いす固定ベルトをゆるめる (4 本とも)**



- ③ 車いすを手で支えながら、車いす固定ベルトのフックを車いすから取りはずす (4 本とも)
- ④ 車いすをラゲージルーム外に出す
- ⑤ 車いす固定ベルトがラゲージルーム外に出ないように固定する

- ① ガードマットをはずしたときは、デッキボードの上に置く
- ② 車両前側の車いす固定ベルトのフックを (7 人乗り車はセードシート用シートベルトの外側を通し) 車両うしろ側のデッキフックに引っかける
- ③ 車両うしろ側の車いす固定ベルトのフックをそれぞれ引っかける
- ④ すべての調整側ベルトを引っ張り、フックが走行中にはずれないようにする

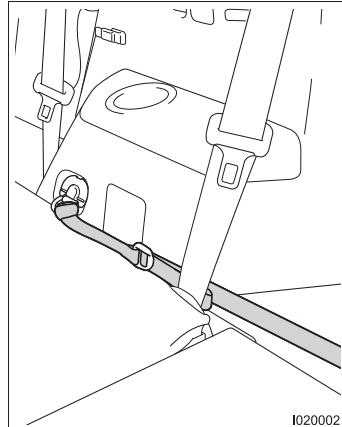


- ⑥ バックドアを閉める

□ 知識

■ 車いすを収納・固定しないときは

- 車いすを収納・固定しないときは、車いす固定ベルトをデッキボードやバックドアに挟んだりしないようにするため、それぞれのフックを引っかけてください。 (→ P. 48, 67)
- 7人乗り車は、前側の車いす固定ベルトを必ずサードシート用のシートベルトの外側に取りまわしてください。サードシート用のシートベルトの内側を通すと、サードシート用のシートベルトが使用できなくなります。



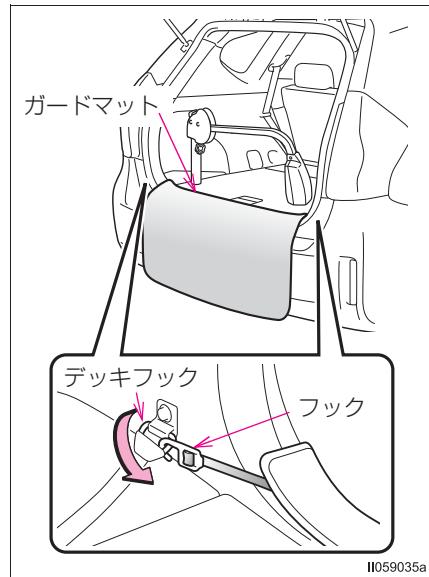
- 車いす固定ベルトを放置した状態だと、車いす固定ベルトをバックドアまたはサードシート (7人乗り車) に挟み込むなどのおそれがあります。

収納のしかた (B タイプ)

手動車いす用収納装置は 30kg までの車いすを吊り上げることができ、車いすのラゲージルームへの出し入れを補助します。

車いすをラゲージルーム内に入れる前に

- 1 安全で平坦な場所にハイブリッドシステムを作動状態のまま停車し、パーキングブレーキをかけ、シフトポジションを P の位置にする
(→ P. 40)
- 2 車両後方に十分なスペースがあることを確認する
- 3 ガードマットのフックをラゲージルーム内のデッキフックに引っかける
 - ・ ガードマットがバンパーを覆うようにフックのベルトの長さを調整します。
 - ・ 車いす収納時、バンパーの傷付きを防止します。



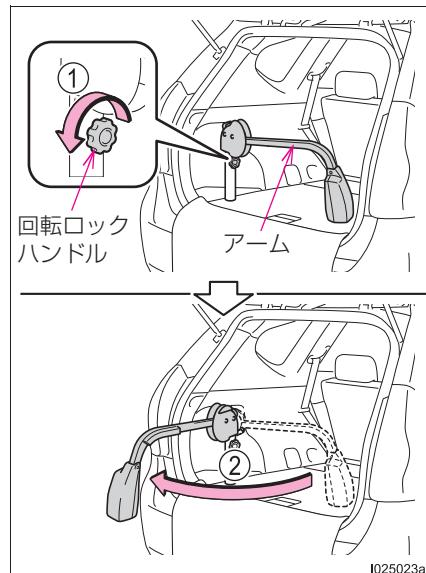
手動車いす用収納装置 (電動式) のセットのしかた

1 アームを回転させる

- ① 回転ロックハンドルを左にまわし、アームの回転ロックを解除する

回転ロックハンドルはまわし過ぎないようにしてください。(まわし過ぎると回転ポストからはずれます)

- ② アームをラゲージルーム外にいっぱいまで回転させる

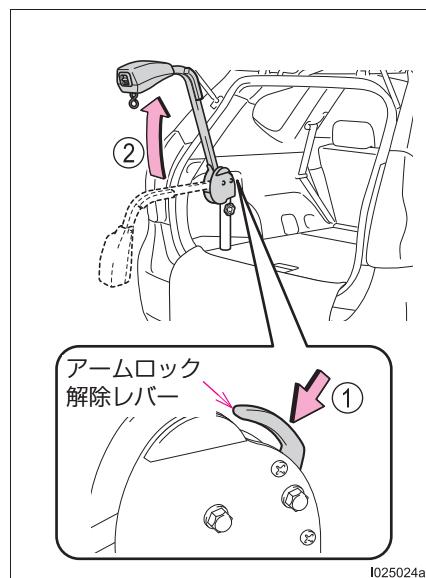


2 アームを起こす

- ① アームを少し押し下げながらアームロック解除レバーを押さえてロックを解除する

- ② アームを起こす

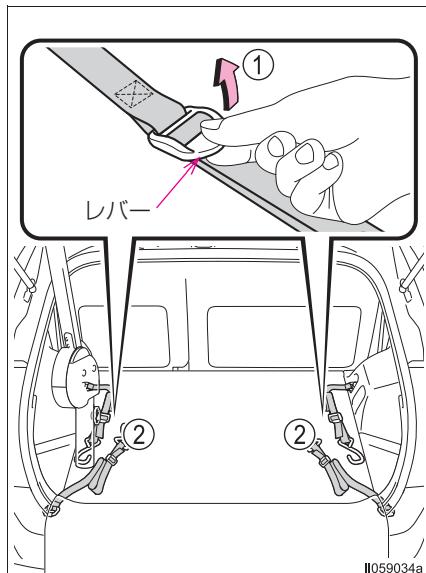
アームをいっぱいまで起こすと“カチン”と音がして自動的にロックされます。



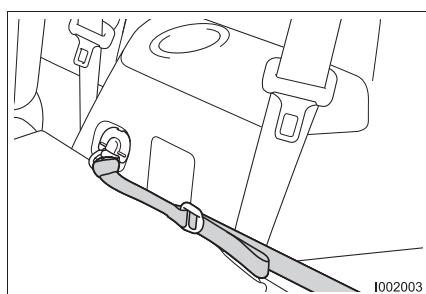
車いすをラゲージルーム内に収納・固定するときは

- 1 車いす固定ベルトをゆるめて、ラゲージルーム内中央に何も置かれていない状態にする

- ① すべての車いす固定ベルトのバックルのレバーを引き上げ、車いす固定ベルトをゆるめる
② 車いす固定ベルトはラゲージルームのすみによけておく

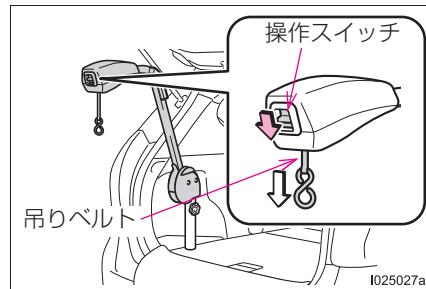


- 2 7人乗り車は、前側の車いす固定ベルトをサードシート用のシートベルトの内側に取りまわす

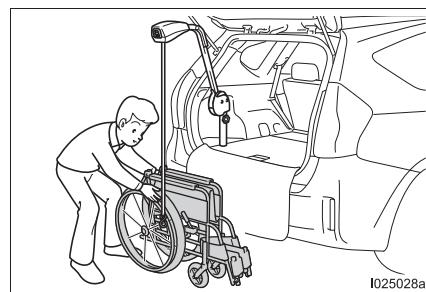


車いすの吊り上げ・収納のしかた

- 1 操作スイッチを下に押し続け、車いすに吊りベルトがかけられる長さまで、吊りベルトを引き出す
- 十分な長さまで吊りベルトを引き出したら、スイッチから指を離してください。
 - 吊りベルトは引き出しすぎないでください。 (→ P. 58)

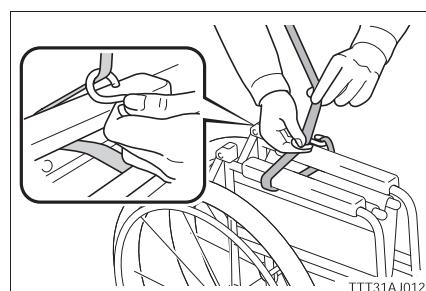


- 2 車いすを折りたたみ、車いすの前輪を車両右側にして後輪のブレーキを両輪ともかける
- 車いすのブレーキのかけ方、折りたたみ方については、お使いの車いすの取扱説明書をご覧ください。
 - P. 41 の「収納可能な車いすのサイズ」を確認してください。



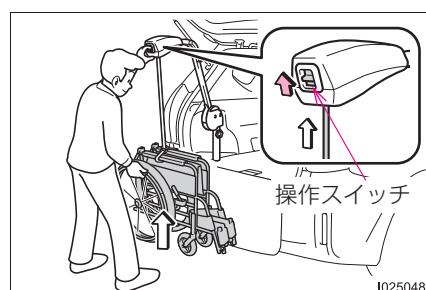
- 3 吊りベルトを車いすにセットする

車いすの前後のバランスがとりやすくなるように、吊りベルトをアームレスト・車輪・ハンドリムなどに通し、吊りベルトにフックを引っかけます。



- 4 操作スイッチを上に押し続け、吊りベルトを巻き上げ、車いすを吊り上げる

車いすに手を添えて吊り上げてください。

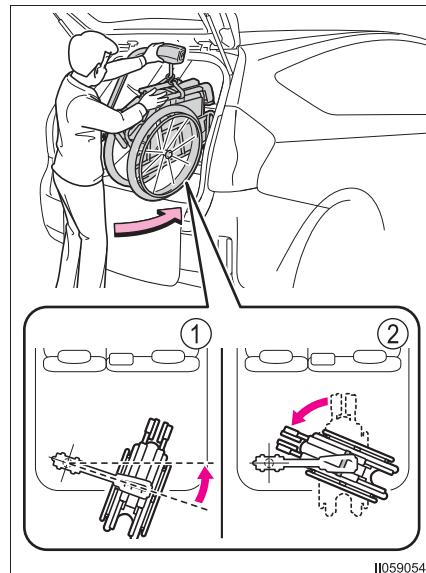


5 車いすをアームごとラゲージルーム内に回転・収納する

① 車いすの前輪側をラゲージルーム内に入れ、アームをいっぱいまで回転させる

② 車いすを左に回転させ、後輪側をラゲージルーム内に入れる

車いすの向きは、吊り上げ前の状態から反転して収納します。



II059054

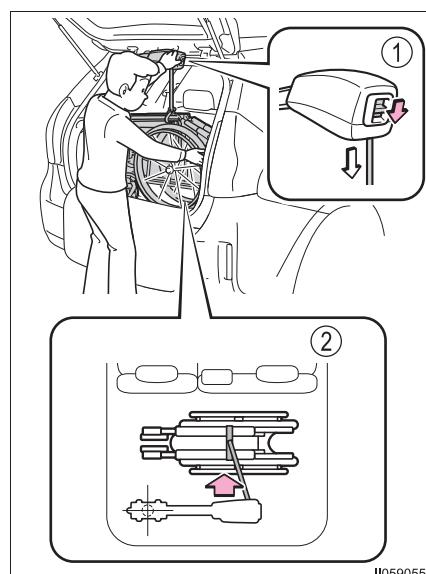
6 車いすをラゲージルーム奥側の床面(7人乗り車は格納したサードシートの上)に押し込む

① 車いすの車輪をラゲージルーム床面に降ろし、十分な長さまで吊りベルトを引き出す

- ・操作スイッチを下に押して、吊りベルトを引き出してください。
- ・車いすに手を添えながら降ろしてください。

② 車いすを押し込む

吊りベルトの長さが足りない場合は、さらに操作スイッチを下に押して、吊りベルトを引き出してください。



II059055

7 車いすを手前に倒しながら、吊りベルトを引き出し、横置きに収納する

- 操作スイッチを下に押して、吊りベルトを引き出してください。
- 車いすの車輪側がラゲージルームの奥になるように収納してください。
- 車いすに手を添えながら手前に倒してください。



II059029

8 吊りベルトを車いすからはずす

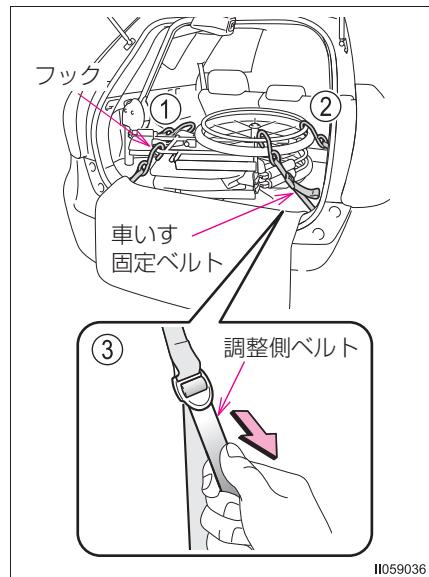
9 操作スイッチを上に押し続け、吊りベルトをいっぱいまで巻き上げる

車いすの固定のしかた

車いす固定ベルトを使用して車いすを固定します。

ベルトのフックは次の場所を目安に引っかけてください。

- ① 左側のフック 2 本を車いすのフレームに引っかける
- ② 右側のフック 2 本を車いすの後輪のハンドリムに引っかける
- ③ 調整側ベルトを引っ張り、車いすを確実に固定する (4 本とも)

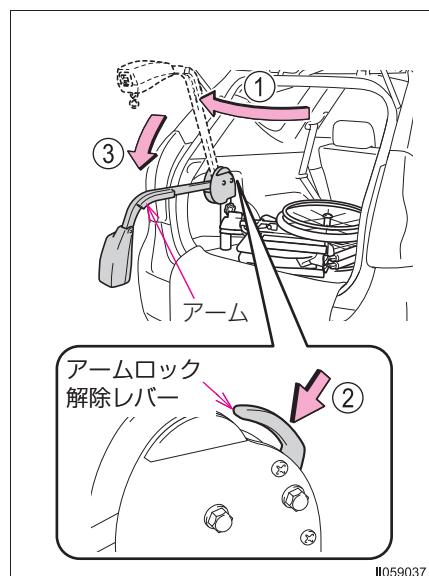


II059036

手動車いす用収納装置（電動式）の格納のしかた

① アームをたたむ

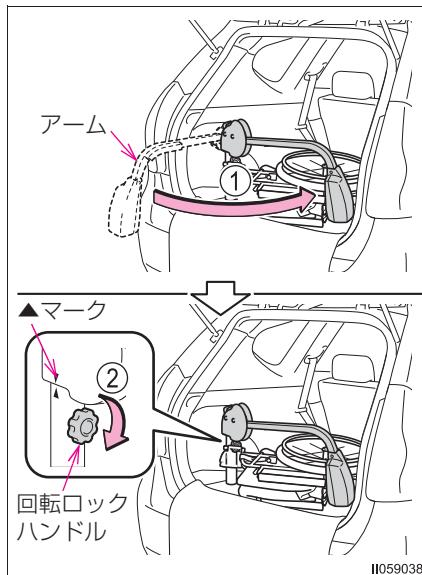
- ① アームをラゲージルーム外にいっぱいまで回転させる
- ② アームを少し持ち上げながらアームロック解除レバーを押さえてロックを解除する
- ③ アームをたたむ
アームをいっぱいまでたたむと“カチン”と音がして自動的にロックされます。



II059037

2 アームを固定する

- ① アームを▲マークが合う位置まで回転させる
- ② 回転ロックハンドルを右にまわし、アームの回転をロックさせる



固定後、走行する前に

1 ガードマットをラゲージルーム内に収納する

ガードマットは、デッキフックに引っかけたまま収納するか、取りはずしてください。

2 バックドアを閉める

- ・ バックドアを閉めるときは、車いすを挟み込まないことおよび手動車いす用収納装置などがバックドアにあたらないことを確認しながら、ゆっくりと閉めてください。
- ・ ただちに走行しないときはハイブリッドシステムを停止します。

□ 知識

■ 車いす固定ベルトについて

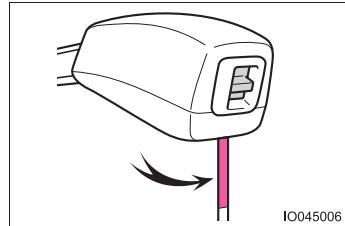
→ P. 46

■ 車いすについて

→ P. 46

■ 吊りベルトの引き出し目安について

フックが地面に到達する直前まで吊りベルトを引き出すと、吊りベルトを車いすにセットする操作が容易になります。ただし、赤色テープが出てきたら、それ以上操作スイッチを下に押し続けないでください。操作スイッチを下に押しても吊りベルトが巻き上がる場合、P. 80 の「吊りベルトの出・入が逆の作動をしたときは」の操作をしてください。



■ 吊りベルトが引き出しにくいときは

操作スイッチを下に押したままフックを持って吊りベルトを下に引くと、ベルトが容易に引き出せます。

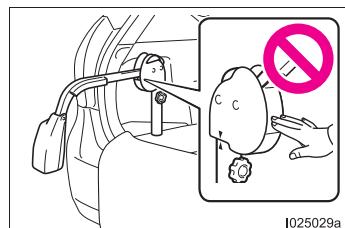
⚠ 警告

■ 手動車いす用収納装置を使用するときは

● 吊りベルトをアームレスト・車輪・ハンドリムなどにセットする位置は、できるだけ車いすの前後のバランスがとれる位置にしてください。

前後のバランスがとれないと、吊り上げると、車いすの姿勢が不安定になり、車いすが体にあたるなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

● アームの起立・格納をするときは、可動部付近に手をふれないでください。手を挟み、けがをするおそれがあります。

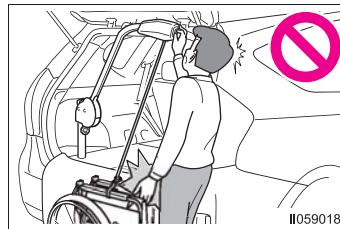




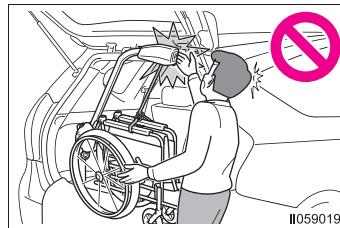
警告

■車いすを収納するときは

- 手などを挟んだり、車いすや車両に体があたらないように注意してください。
- 車いすに手を添えるとき、車いすのアームレスト部に指を挟まないように注意してください。
- アームとバックドア開口部で手を挟まないように注意してください。



II059018



II059019

■車いすを固定したときは

→ P. 46

 **注意****■手動車いす用収納装置を使用するときは**

- アームの起立・格納をするときは、アームを持ちながらゆっくりと行ってください。また、アームを起こしたときは、確実にロックしたことを確認してから手を離してください。
- 手動車いす用収納装置で車いす以外のものを吊り上げないでください。
吊り上げたものが落下して車両を損傷したり、手動車いす用収納装置が故障するおそれがあります。
- 車いすを吊り上げる際、P. 41 の「収納可能な車いすのサイズ」を確認してください。
手動車いす用収納装置の故障および車いすの収納・固定が困難になり、車両を傷付けるおそれがあります。
- 車いすを吊り上げる際、吊りベルトがふれる部位に吊りベルトが傷付くような鋭利な突起物等がないことを確認してください。
吊りベルトが損傷するおそれがあります。
- 手動車いす用収納装置を固定後、アームを前後左右にゆすり、確実に固定されていることを確認してください。
▲マークが合う位置で確実にアームを固定しないと、走行中、アームが動き、車いすや車両などを損傷するおそれがあります。
- 吊りベルトを車いすのアームレスト・車輪・ハンドリムなどにセットする位置は、できるだけ車いすの前後のバランスのとれる位置にしてください。
前後のバランスがとれていないと、吊り上げると、車いすの姿勢が不安定になり、車いすや車両を傷付けるおそれがあります。
- 吊りベルトをいっぱいまで巻き上げたら、それ以上操作スイッチを上に押し続けないでください。
手動車いす用収納装置が故障するおそれがあります。

 **注意****■車いすを収納するときは**

- 車いすを収納する前に、必ずバックドアが全開になっていることを確認してください。

全開になっていないと、車いす収納時、バックドアとアームがあたり、損傷するおそれがあります。

- 車いすを収納するときは、アームをラゲージルーム内に勢いよく回転させないでください。

アームがバックドア内側にあたり、アームおよびバックドア内側を損傷するおそれがあります。

■車いすを固定するときは

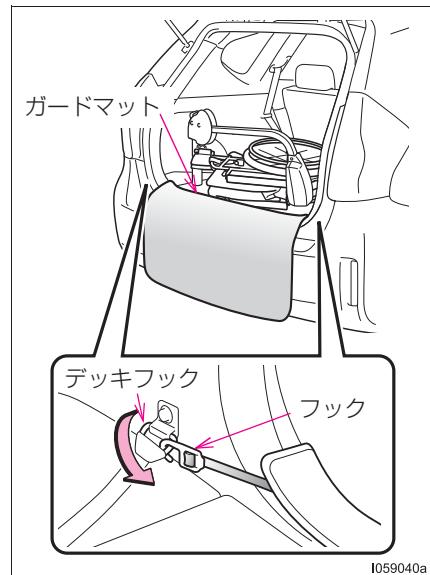
→ P. 46

ラゲージルーム外への出しかた (B タイプ)

車いすをラゲージルーム外に出すときは次のように行ってください。

車いすをラゲージルーム外に出す前に

- 1 安全で平坦な場所にハイブリッドシステムを作動状態のまま停車し、パーキングブレーキをかけ、シフトポジションを P の位置にする
(→ P. 40)
- 2 車両後方に十分なスペースがあることを確認する
- 3 ガードマットのフックをラゲージルーム内のデッキフックに引っかける
 - ・ ガードマットがバンパーを覆うようにフックのベルトの長さを調整します。
 - ・ 車いすをラゲージルーム外に出すときに、バンパーの傷付きを防止します。



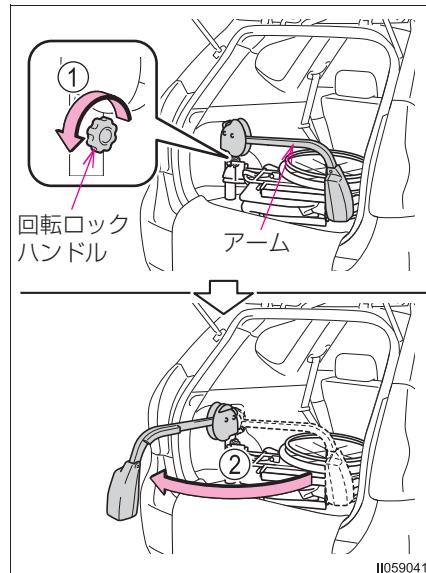
手動車いす用収納装置 (電動式) のセットのしかた

1 アームを回転させる

- ① 回転ロックハンドルを左にまわし、アームの回転ロックを解除する

回転ロックハンドルはまわし過ぎないようにしてください。(まわし過ぎると回転ポストからはずれます)

- ② アームをラゲージルーム外にいっぱいまで回転させる

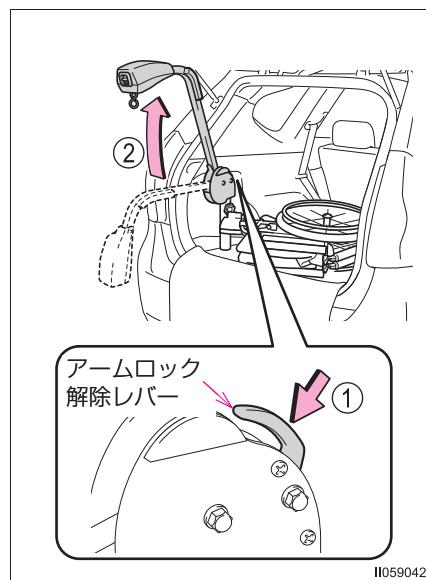


2 アームを起こす

- ① アームを少し押し下げながらアームロック解除レバーを押さえてロックを解除する

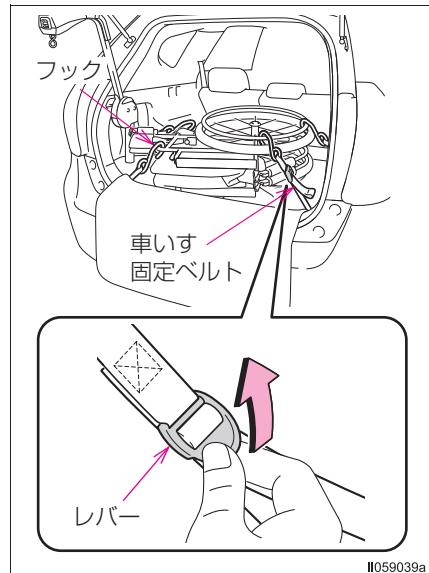
- ② アームを起こす

アームをいっぱいまで起こすと“カチン”と音がして自動的にロックされます。



車いすの解除のしかた

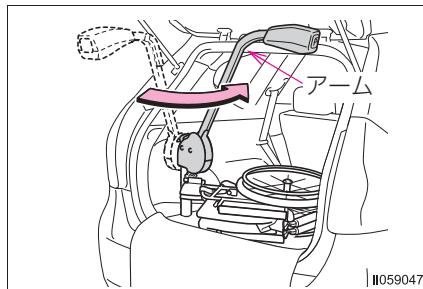
- 1 車いす固定ベルトのバックルのレバーを引き上げ、車いす固定ベルトをゆるめる (4 本とも)



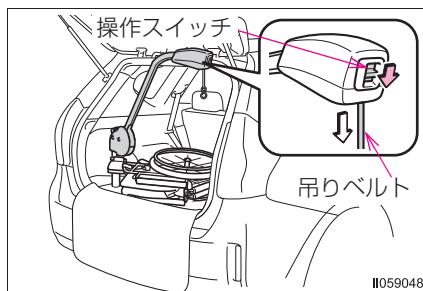
- 2 車いすを手で支えながら、車いす固定ベルトのフックを車いすから取りはずす (4 本とも)

車いすの吊り上げ・ラゲージルーム外への出しかた

- 1 アームをラゲージルーム内に
いっぱいまで回転させる

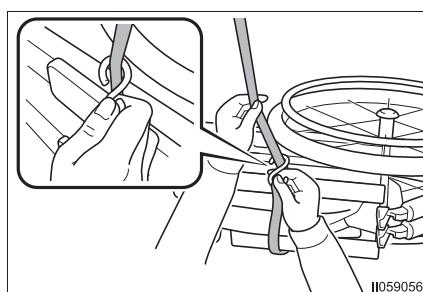


- 2 操作スイッチを下に押し続け、車
いすに吊りベルトがかけられる
長さまで、吊りベルトを引き出す
・十分な長さまで吊りベルトを引き
出したら、スイッチから指を離し
てください。
・吊りベルトは引き出しすぎないで
ください。(→ P. 58)



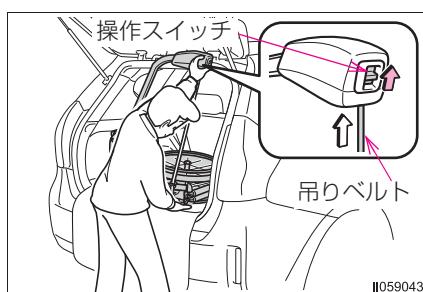
- 3 吊りベルトを車いすにセットす
る

車いすの前後のバランスがとりやすく
なるように、吊りベルトをアームレス
ト・車輪・ハンドリムなどに通し、吊
りベルトにフックを引っかけます。

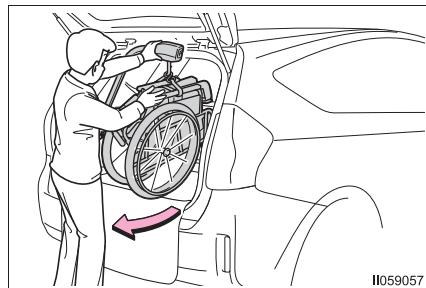


- 4 操作スイッチを上に押し続け、吊
りベルトを巻き上げ、車いすを吊
り上げる

車いすに手を添えて吊り上げてくだ
さい。

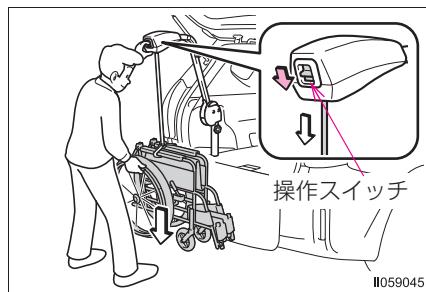


- 5 車いすをアームごとラゲージルーム外にいっぱいまで回転させる



II059057

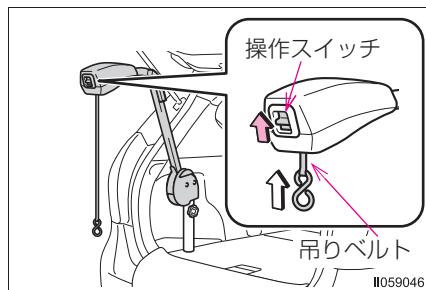
- 6 操作スイッチを下に押し続け、車いすの車輪が地面に降りる長さまで吊りベルトを引き出す
- ・車いすに手を添えながら降ろしてください。
 - ・車いすの車輪が地面に降りたら、スイッチから指を離してください。
 - ・吊りベルトは引き出しすぎないでください。 (→ P. 58)



II059045

- 7 吊りベルトを車いすからはずす

- 8 操作スイッチを上に押し続け、吊りベルトをいっぱいまで巻き上げる

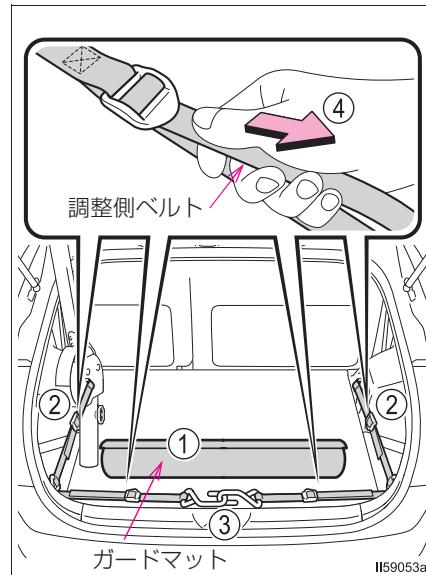


II059046

車いすをラゲージルーム内に収納・固定しないときは

車いす固定ベルトがラゲージルーム外に出ないように固定します。

- ① ガードマットをはずしたときは、デッキボードの上に置く
- ② 車両前側の車いす固定ベルトのフックを (7 人乗り車はサードシート用シートベルトの外側を通し) 車両うしろ側のデッキフックに引っかける
- ③ 車両うしろ側の車いす固定ベルトのフックをそれぞれ引っかける
- ④ すべての調整側ベルトを引っ張り、フックが走行中にはずれないようにする



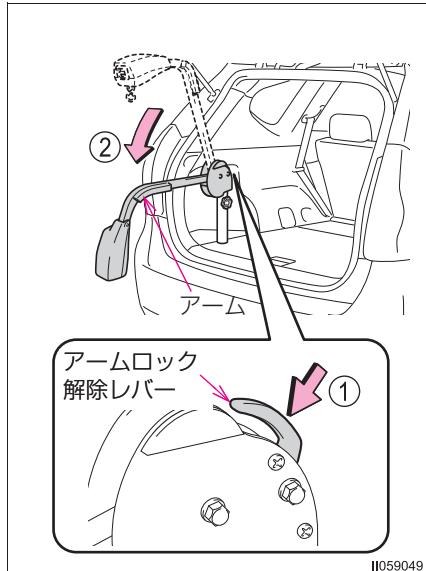
手動車いす用収納装置（電動式）の格納のしかた

1 アームをたたむ

- アームを少し持ち上げながらアームロック解除レバーを押さえてロックを解除する

- アームをたたむ

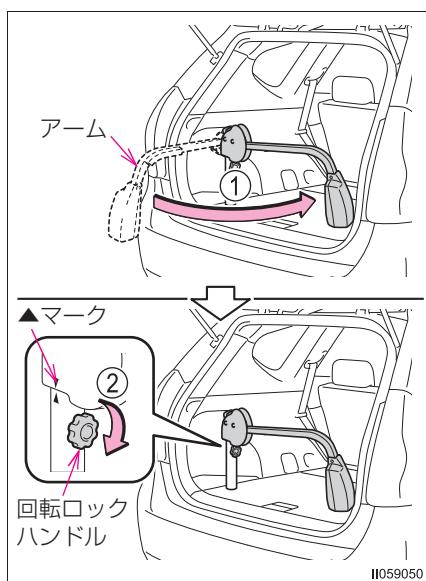
アームをいっぱいまでたたむと“カチン”と音がして自動的にロックされます。



II059049

2 アームを固定する

- アームを▲マークが合う位置まで回転させる
- 回転ロックハンドルを右にまわし、アームの回転をロックさせる



II059050

3 バックドアを閉める

 **知識****■車いすを収納・固定しないときは**

→ P. 49

■吊りベルトが引き出しにくいときは

→ P. 58

 **警告****■手動車いす用収納装置を使用するときは**

→ P. 58

 **注意****■手動車いす用収納装置を使用するときは**

→ P. 60

デッキボードを開閉するときは

デッキアンダーボックスを使用するときやパンクしたときなど、デッキボードを開閉するときは、次のように行ってください。

デッキボード、デッキアンダーボックスの取扱いについては、標準車取扱書の『ラゲージルーム内装備』『パンクしたときは』を併せて参照してください。

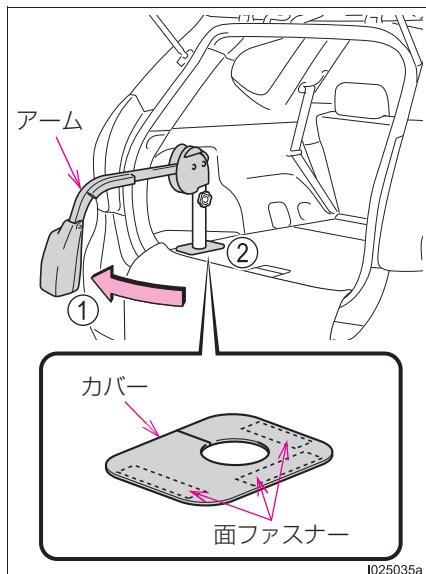
デッキボードを取りはずす前に

- 車いすがラゲージルーム内に収納・固定されているときは、車いすの固定を解除し、車いすをラゲージルーム外に出す（→ P. 47, 62）
- 車いす固定ベルトをラゲージルームのすみによけておく（→ P. 44, 52）

デッキボードを取りはずすときは（B タイプ）

1 アームを回転させる

- 手動車いす用収納装置のアームをラゲージルーム外にいっぱいまで回転させる（→ P. 51）
- 回転ポスト横のカバーをはずす
面ファスナーをはがします。



2 回転ポストにあたらないように、デッキボードをはずす

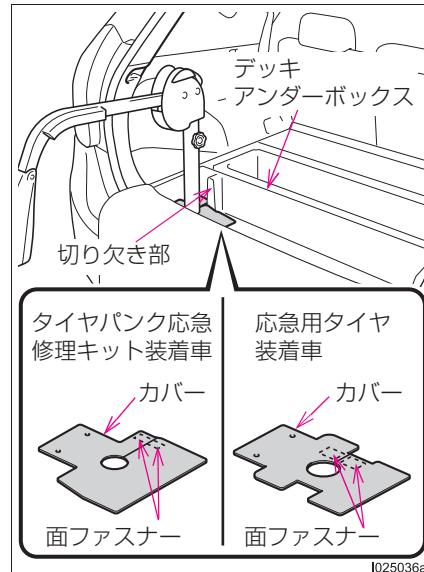
取り付けるときは逆の手順で行います。

デッキアンダーボックスを取りはずすときは

回転ポスト横のカバーをはずし、ポストにあたらないように、デッキアンダーボックスをはずす

面ファスナーをはがします。

取り付けるときは逆の手順で行います。



注意

■ 破損・損傷を防ぐために

デッキアンダーボックスの取り付け・取りはずしを行うときは、回転ポスト横の切り欠き部を回転ポストにあてないよう注意してください。

切り欠き部が破損したり、回転ポストが損傷するおそれがあります。

万一の場合には

4

4-1. 故障かな？とお考えになる前に	
ヒューズの交換	74
助手席リフトアップシートが動かないときは	77
ワイヤレスリモコンの電池交換	78
手動車いす用収納装置（電動式）が動かないときは（B タイプ）	80
4-2. 緊急時の対処法	
助手席リフトアップシートが車外に出た状態で動かないときは	81

ヒューズの交換

次のようなときは、ヒューズ切れが考えられます。

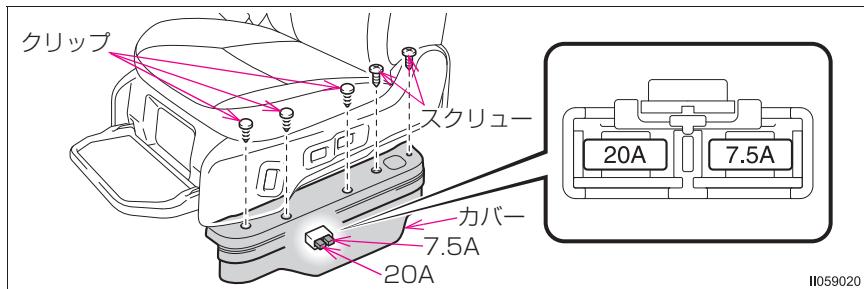
- 助手席リフトアップシートのスイッチを操作しても、助手席リフトアップシートが動かないとき
- 手動車いす用収納装置の操作スイッチを操作しても、吊りベルトの巻き上げ・引き出しができないとき

ヒューズが切れたときは、必ず規定容量のヒューズと交換してください。

ヒューズ位置

■ 助手席リフトアップシート左側下部

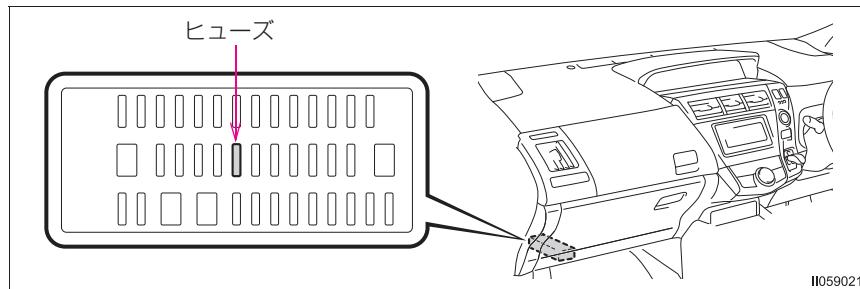
クリップ 3 本、スクリュー 2 本を取りはずし、カバーをはずします。



アンペア数	使用装置
7.5 A、20 A	助手席リフトアップシート

■ 助手席足元ヒューズボックス

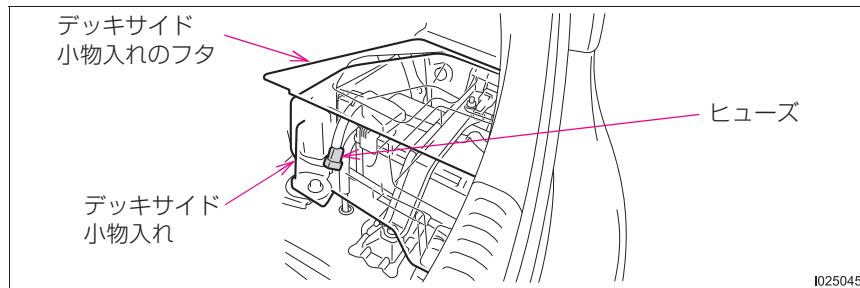
助手席足元ヒューズの点検・交換方法については、標準車取扱書の『ヒューズの点検・交換』をお読みください。



ヒューズ名称	アンペア数	使用装置
P FR DOOR	25 A	助手席リフトアップシート

■ 補機バッテリー部 (B タイプ)

デッキボード、デッキサイド小物入れのフタ、デッキサイド小物入れをはずします。



アンペア数	使用装置
30 A	手動車いす用収納装置

 知識

■ ヒューズを交換したあとは

次の場合はトヨタ販売店で点検を受けてください。

- 交換しても再びヒューズが切れるとき
- 交換しても助手席リフトアップシートおよび手動車いす用収納装置が動かないとき

 警告

■ 車の故障や火災を防ぐために

次のことをお守りください。

お守りいただかないと車の故障や火災、けがをするおそれがあります。

- 規定容量以外のヒューズまたはヒューズ以外のものを使用しない
- 必ずトヨタ純正ヒューズか同等品を使用する
- ヒューズやヒューズボックスを改造しない

助手席リフトアップシートが動かないときは

次の処置をしてください。

作動条件の確認

作動条件をすべて満たしていることを確認してください。(→ P. 33)

ヒューズの点検・交換

作動条件をすべて満たしていても作動しない場合は、ヒューズを点検・交換してください。(→ P. 74)

作動条件の確認およびヒューズの点検・交換をしても動かない場合

すみやかに点検を受けてください。

修理が完了するまで、絶対に助手席リフトアップシートを使用しないでください。

■ 車内に入った状態で動かない場合

そのままトヨタ販売店で点検を受けてください。

■ 車外に出た状態で動かない場合

リセット(→ P. 81)しても動かない場合は、トヨタ販売店または専門業者に P. 86「スイッチを押しても助手席リフトアップシートが動かないとき」の操作をご依頼ください。

□ 知識

■ 補機バッテリーの取り扱いについて

→ P. 14

ワイヤレスリモコンの電池交換

電池が消耗しているときは、新しい電池に交換して下さい。

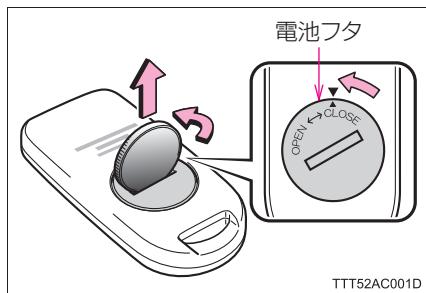
用意するもの

- コインなど、電池フタの溝に挿し込めるもの
- リチウム電池 CR2032

電池交換のしかた

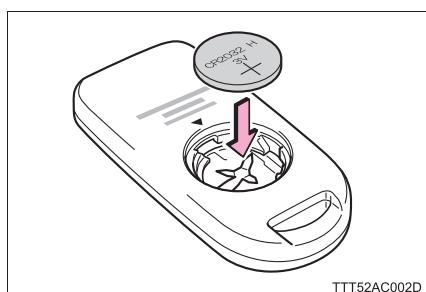
1 電池フタをはずす

コインなどを電池フタの溝に差し込み、▲マークが合う位置まで OPEN 側にまわし、電池フタをはずします。



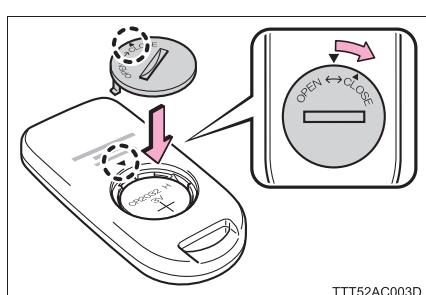
2 電池を交換する

電池を取り出し、新しい電池の+側を上（電池フタ側）にして挿入します。
使用電池 リチウム電池 CR2032



3 電池フタをはめる

- ・電池フタと送信機の▲マークを合わせてはめます。
- ・コインなどを電池フタの溝に挿し込み、CLOSE 側にまわし、電池フタを締め込みます。



4 作動確認をする

電源スイッチを押し、動作表示 LED が赤色点灯中(6秒以内)にシート下降スイッチまたはシート上昇スイッチを押して、動作表示 LED が緑色点滅することを確認します。

□ 知識

■ リチウム電池 CR2032 の入手

電池はトヨタ販売店、時計店、カメラ店などで購入できます。

⚠ 警告

■ 取りはずした部品や電池について

お子さまにさわらせないでください。

部品が小さいため、誤って飲み込むと、のどなどにつまらせ、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

⚠ 注意

■ 交換後、正常に機能させるために

次のことをお守りください。

- 電池交換時に部品を紛失しない
- 電池フタを曲げたりしない
- 電池以外の部品にふれたり、動かしたりしない
- 電池の+極と-極は必ず正しい向きにして挿入する
- 電池挿入部の電極を曲げたり、ゴミや油などを付着させない

手動車いす用収納装置（電動式）が動かないときは（B タイプ）

次の処置をしてください。

ヒューズの点検・交換

ヒューズを点検・交換してください。（→ P. 74）

ヒューズの点検・交換をしても動かない場合

トヨタ販売店で点検を受けてください。

吊りベルトの出・入が逆の作動をしたときは

吊りベルトを引き出すとき、赤色テープが出てきたあとも、さらに操作スイッチを下に押し続けると、その後、吊りベルトが逆転して巻き上がり始めます。

赤色テープは吊りベルトの終端であることを示します。

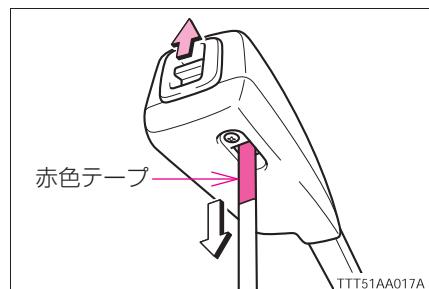
操作スイッチを上に押し続けると、吊りベルトが引き出されます

■ 正常作動へのもどし方

操作スイッチを上に押し続け、一度吊りベルトを出しきる

吊りベルトが巻き上がり始めたら、正常な状態になります。

スイッチ操作方向と吊りベルトの動く方向が同じになつたら正常です



助手席リフトアップシートが車外に出た状態で動かないとときは

万一、助手席リフトアップシートが回転または昇降途中で動かなくなってしまったときは、助手席ドアを閉めることができません。

ヒューズを点検・交換（→P. 74）または、リセットしても動かない場合は、トヨタ販売店または専門業者にP. 86「スイッチを押しても助手席リフトアップシートが動かないととき」の操作をご依頼ください。

助手席リフトアップシートをリセットする前に

助手席リフトアップシートに座っている乗員がいる場合は、乗員を安全な場所に移動させてから作業を行ってください。

リセットについて

助手席リフトアップシートが動かなくなったときは、リセットを行ってください。

① 操作前に、次の状態を確認する

- ・助手席ドアが全開になっていること
- ・助手席リフトアップシートのシートベルトが着用状態になっていないこと
- ・助手席側セカンドシートに乗員がいないこと
- ・グローブボックスのフタが閉まっていること
- ・サンバイザーが格納されていること

② 助手席リフトアップシートを次の状態に調整する

① ヘッドレストを取りはずす（→P. 18）

② アームレスト付シート装着車：

アームレストをいちばん下げた状態にする（→P. 20）

③ フットレストをいちばん上げた位置にする（→P. 21）

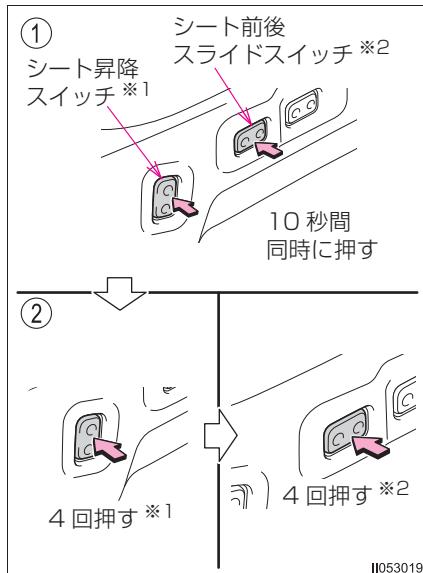
- ③ 助手席リフトアップシートが停止しているときに、次のようにスイッチを操作する

- ① シート前後スライドスイッチとシート昇降スイッチを同時に10秒間押し続ける

10秒間押し続け（“ピー”とブザーが鳴ります）、ブザーが鳴りやんたらスイッチから指を離します。

- ② ブザーが鳴りやんでから10秒以内にシート昇降スイッチおよびシート前後スライドスイッチを各4回押す

- ・正しく押すと“ピッピー”とブザーが鳴ります。
- ・10秒以内にスイッチを押し終わらなかったり、正しくスイッチを押さなかった場合、“ピー”とブザーが鳴ります。①のスイッチ操作からやり直してください。



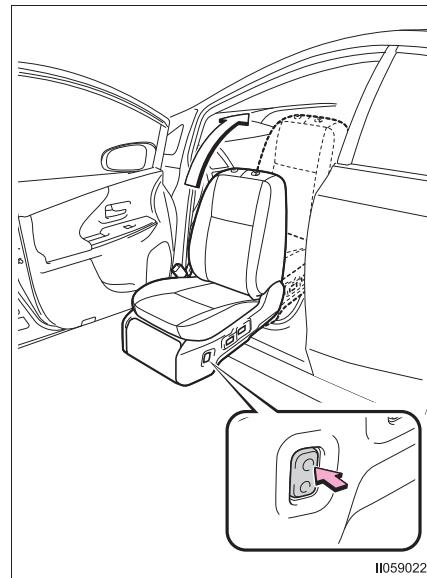
II053019

※1 上側・下側どちらでも可

※2 前側・後側どちらでも可

④ シート昇降スイッチの上側を押し、助手席リフトアップシートを上昇および車内にスライドさせる

- ・助手席リフトアップシートがグローブボックスにあたらない位置まで助手席リフトアップシートを上昇および車内にスライドさせます。
- ・スイッチを押してもシートが動かないときは、トヨタ販売店または専門業者にP. 86「スイッチを押しても助手席リフトアップシートが動かないとき」の操作をご依頼ください。

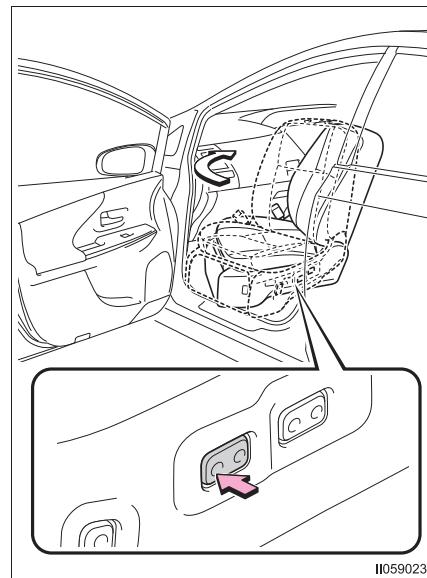


II059022

* 手順④～手順⑧の一連の作動中にリセット解除条件が成立すれば、“ピー”とリセット解除ブザーが鳴り、通常モードに復帰します。(通常作動とは異なります)

⑤ 左側のシート前後スライドスイッチの前側を押し、助手席リフトアップシートを車内に回転させる

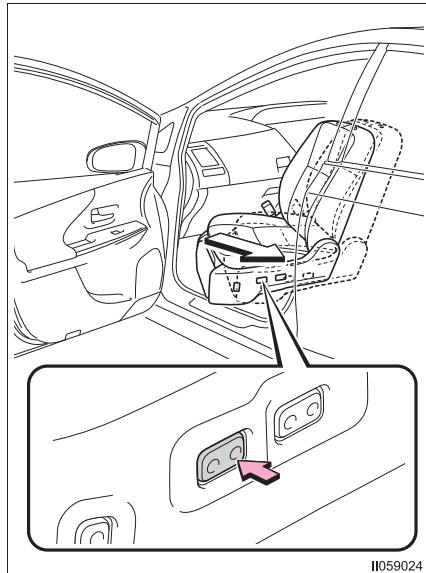
助手席リフトアップシートが助手席ドアやグローブボックスにあたらない位置まで助手席リフトアップシートを回転させます。



II059023

- 6 左側のシート前後スライドスイッチのうしろ側を押し、助手席リフトアップシートを後方にスライドさせる

助手席リフトアップシートがドア開口部にあたらない位置まで助手席リフトアップシートをスライドさせます。



II059024

- 7 助手席ドアやドア開口部にあたらないように手順⑤～手順⑥をくり返し、上昇端リセット、外スライド原点リセット、回転原点リセットおよび前後スライドの原点リセットをさせる

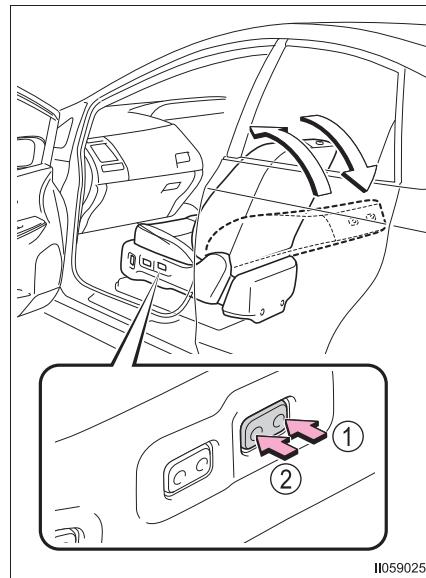
- ・原点リセットがされると“ピッ”とブザーが鳴ります。
- ・助手席リフトアップシートが後方にスライドしない場合は、シート昇降スイッチの下側を押してからシート前後スライドスイッチのうしろ側を押し、助手席リフトアップシートを前方にスライドさせてから、手順⑧の操作をしてください。

8 左側のシートリクライニングスイッチを押し、リクライニング原点リセットをさせる

- ① シートリクライニングスイッチのうしろ側を押して背もたれがうしろ側へ倒れ始め、自動的に停止するまでスイッチを押し続けます。

自動的に停止したあと、またはスイッチを押しても背もたれが動かない場合は②の操作をします。

- ② シートリクライニングスイッチの前側を押して背もたれが前側へ起き始め、“ピー”とブザーが鳴るまでスイッチを押し続けます。



9 各スイッチ操作を行い、助手席リフトアップシートが通常作動することを確認する

スイッチを押しても助手席リフトアップシートが動かない、または通常作動にどつてないときは、そのままトヨタ販売店で点検を受けてください。

スイッチを押しても助手席リフトアップシートが動かないとき

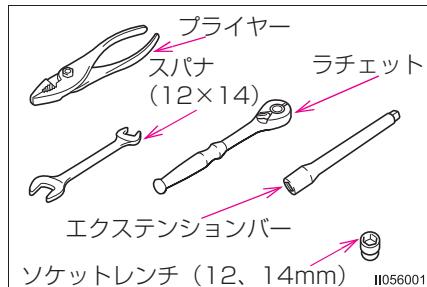
ヒューズの点検・交換（→ P. 74）または、リセットしても動かない場合は、トヨタ販売店または専門業者に下記の操作をご依頼ください。

下記の操作は、緊急時の対処法です。

操作を行ったあとは、助手席リフトアップシートが完全に固定された状態ではありません。シートのまわりに人やものがないことを確認して、すみやかにトヨタ販売店で点検を受けてください。

■ 使用工具について

助手席リフトアップシートを手動で車内にもどすときは、次の工具を使用します。



■ 助手席リフトアップシートを手動で格納させるときは

1 操作前に次の状態を確認する

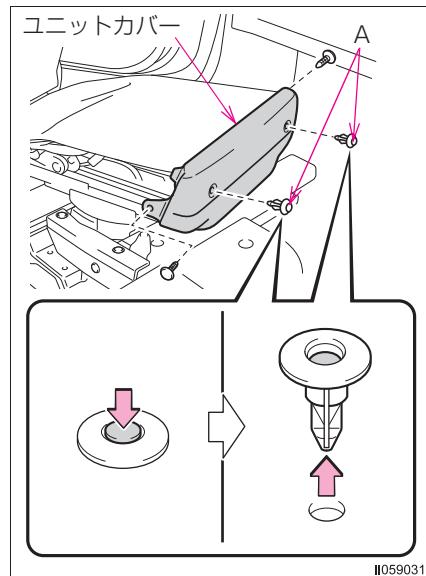
- ・助手席ドアが全開になっていること
- ・助手席リフトアップシートのシートベルトが着用状態になっていないこと
- ・助手席側セカンドシートに乗員がないこと
- ・グローブボックスのフタが閉まっていること
- ・サンバイザーが格納されていること

2 助手席リストアップシートを次の状態にする

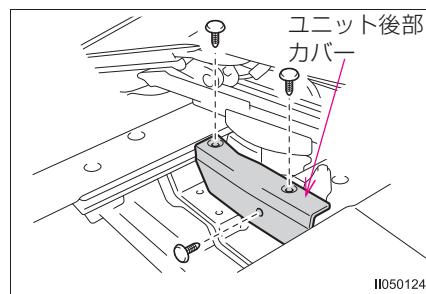
- ・ヘッドレストを取りはずす（→ P. 18）
- ・アームレスト付シート装着車：
アームレストをいちばん下げた状態にする（→ P. 20）
- ・フットレストをいちばん上げた位置にする（→ P. 21）

- 3 クリップ4本を取りはずし、助手席リフトアップシートのユニットカバーを取りはずす

「A」のクリップは、頭部の中心を押してから手前に引くとはずれます。

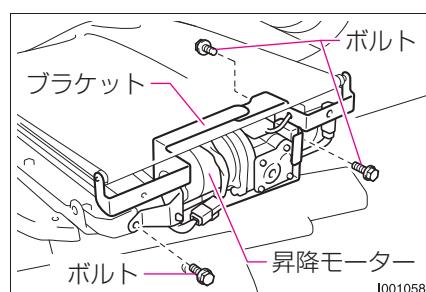


- 4 クリップ3本を取りはずし、ユニット後部カバーをはずす



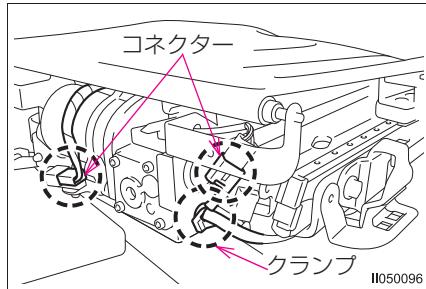
- 5 昇降モーターブラケットのボルト (12mm) 3本をはずす

スパナまたはソケットレンチ、エクステンションバー、ラチェットを使用してください。



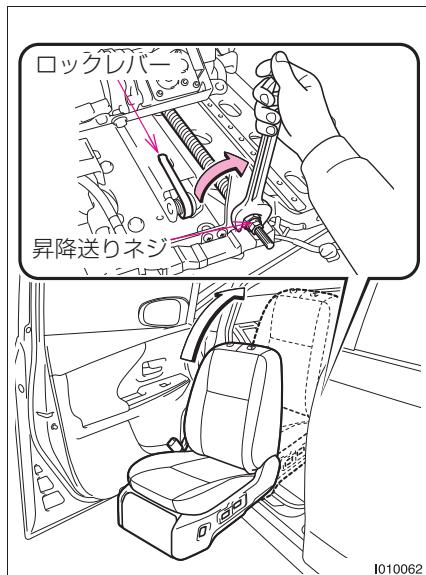
6 コネクター 2 力所およびクランプをはずし、昇降モーターをずらす

昇降モーターをずらすと昇降送りネジが現れます。



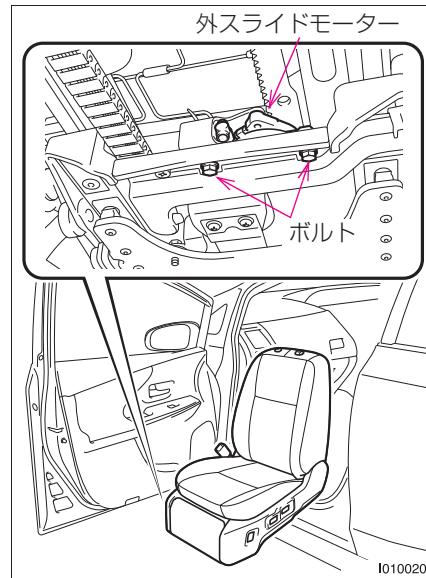
7 プライヤーまたはスパナを使用して昇降送りネジ(14mm)を右にまわし、助手席リフトアップシートを上昇させる

- ・ロックレバーが起き上がる直前まで助手席リフトアップシートを上昇させます。
- ・昇降送りネジを左にまわすと助手席リフトアップシートが下降します。



8 外スライドモーターをずらし、ギヤのかみ合いをはずす

スパナまたはソケットレンチ、エクステンションバー、ラチェットを使用して助手席リフトアップシート下部のボルト (12mm) 2 本をゆるめます。



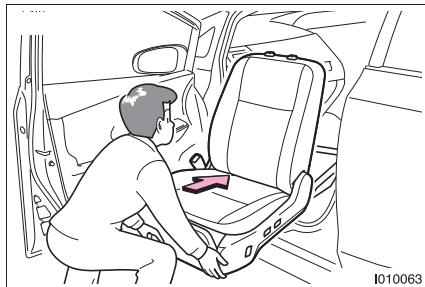
9 回転モーターをずらし、ギヤのかみ合いをはずす

スパナまたはソケットレンチ、エクステンションバー、ラチェットを使用して回転モーターのボルト (12mm) 2 本をゆるめます。



- 10 助手席リフトアップシートを車外から押し、車内にスライド・回転させる

助手席リフトアップシートが助手席ドアやグローブボックスにあたらないことを確認しながら、車内にいっぱいまでスライドさせます。

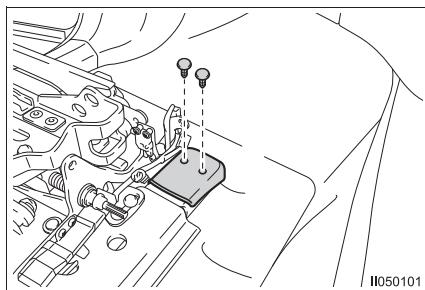


- 11 P. 88 の手順7の方法で、助手席リフトアップシートをいっぱいまで上昇させる

昇降送りネジがまわらなくなるまで右にまわします。

助手席リフトアップシートがいっぱいまで上昇した状態でロックされます。

- 12 クリップ2本を取りはずし、ユニット前部カバーを取りはずす



13 前後スライドモーターを抜き取る

① ナット・ワッシャーを取りはずす

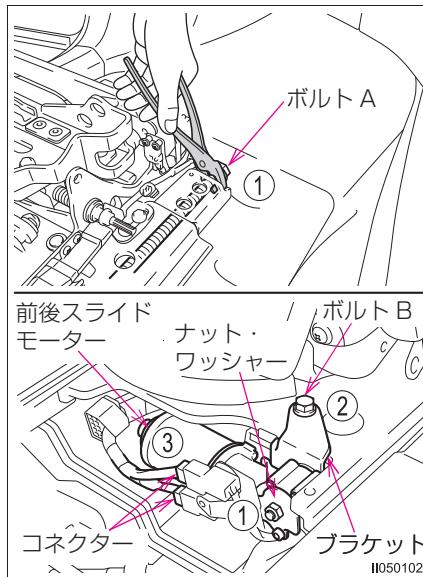
ユニット前部のボルト A をブライヤーで押さえながら、ナット・ワッシャーを取りはずします。

② ブラケットのボルト B (14mm) を取りはずす

スパナまたはソケットレンチ、エクステンションバー、ラチェットを使用してください。

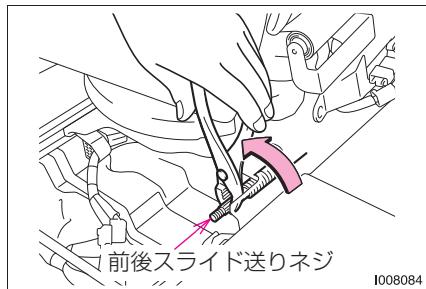
③ コネクター2 力所をはずし、前後スライドモーターを抜き取る

前後スライドモーターを抜き取ると前後スライド送りネジが現れます。



- 14** プライヤーを使用して前後スライド送りネジを左にまわし、助手席リフトアップシートを後方にスライドさせる

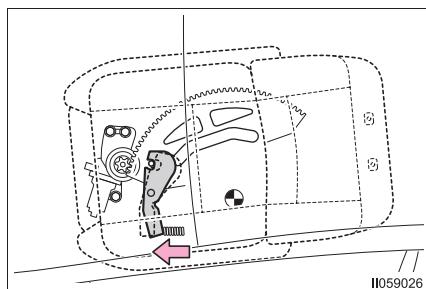
- ・助手席リフトアップシートがドア開口部にあたらない位置まで助手席リフトアップシートを後方にスライドさせます。
- ・前後スライド送りネジを右にまわすと助手席リフトアップシートが前方にスライドします。



- 15** 手順**10**と手順**14**をくり返し、助手席リフトアップシートを車内に格納させる

- 16** ストップバーを押してロックを解除し、助手席リフトアップシートを車内に回転させ、完全に車内に格納する

助手席リフトアップシートがいっぱい今まで回転した状態でロックされます。



- 17** 助手席ドアを閉める

助手席リフトアップシートが通常の格納完了位置ではない場合には、助手席ドアを閉めるとブザーが鳴ります。

 **知識****■リセット操作時、助手席リフトアップシートを車外に回転させるときは**

P. 83 の手順 **5**において、シート昇降スイッチの下側を押してから、シート前後スライドスイッチの前側を押し続けると、助手席リフトアップシートが車外に回転します。(スイッチを押す順序が逆の場合、および同時に押すと、助手席リフトアップシートが停止し、ブザーが鳴ります)

■リセット操作時、助手席リフトアップシートを前方にスライドさせるときは

P. 84 の手順 **6**において、シート昇降スイッチの下側を押してから、シート前後スライドスイッチのうしろ側を押し続けると、助手席リフトアップシートが前方にスライドします。(スイッチを押す順序が逆の場合、および同時に押すと、助手席リフトアップシートが停止し、ブザーが鳴ります)

■ブザーについて

- 上記「リセット操作時、助手席リフトアップシートを車外に回転させるときは」および「リセット操作時、助手席リフトアップシートを前方にスライドさせるときは」以外の複数のスイッチを押すと、助手席リフトアップシートが停止し、ブザーが鳴ります。(\rightarrow P. 28)
- 助手席リフトアップシートを車内に格納する途中、助手席ドアを閉めると断続的にブザーが鳴ります。(\rightarrow P. 28)

■紛失を防ぐために

取りはずした部品は袋に入れるなどして、紛失しないようにしてください。

⚠️ 警告

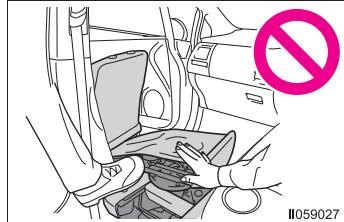
■修理が完了するまでは

助手席リフトアップシートに座らないでください。

■助手席リフトアップシートを手動で格納するときは

- 助手席リフトアップシート格納スペースに手や足を入れないでください。

助手席リフトアップシート可動部などで手や足などを挟み、けがをするおそれがあります。



- 工具を使用したあとは、所定の場所に確実に格納してください。

車室内などに放置すると、急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに、工具が飛んできて乗員にあたるなど、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

⚠️ 注意

■損傷・破損を防ぐために

P. 81 の「リセットについて」および P. 86 の「スイッチを押しても助手席リフトアップシートが動かないとき」の操作をするときは、次のことを必ずお守りください。

- 助手席リフトアップシートのヘッドレストを取りはずしてください。
ヘッドレストを取り付けたまま助手席リフトアップシートを上昇および車内にスライドさせると、ヘッドレストがドア開口部とあたり、損傷するおそれがあります。
- グローブボックス、コンソールボックスのフタを閉めてください。
助手席リフトアップシートとフタがあたり、破損するおそれがあります。
- コンソール部のカップホルダーが使用されていないことを確認してください。
助手席リフトアップシートとカップホルダーに置いたものがあたり損傷するおそれがあります。
- 助手席前のカップホルダーを格納してください。
助手席リフトアップシートの背もたれとカップホルダーがあたり、破損するおそれがあります。

点検・整備項目

5

5-1. 点検・整備項目

定期点検整備..... 96

定期点検整備

故障を減らして長く大切に使うために、定期点検整備をお願いします。点検結果を記録する際には、巻末の記録簿を A4 サイズにコピーして使用してください。

点検整備項目	点検時期		交換時期(年)	備考
	日常点検	自家用車		
12か月ごと	24か月ごと			
助手席プリシート	シートリクリーニングスイッチ リクリーニング作動時の引っかかり・異音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	シート前後スライドスイッチ スライド作動時の引っかかり・異音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	シート昇降スイッチ 昇降作動時の引っかかり・異音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	収納状態、下降状態のガタ		<input type="radio"/>	著しいガタがないこと
手動車両用	作動時の引っかかり・異音・ベルトの巻き取り方向		<input type="radio"/>	操作時の接触不良がないこと
	収納装置取付部のゆるみ・ガタ・損傷		<input type="radio"/>	著しいガタがないこと
	吊りベルトの傷・ほつれ	<input type="radio"/>		ほつれが始まったら交換
車ベルト固定	ベルトの傷・ほつれ	<input type="radio"/>		ほつれが始まったら交換

* 空欄については点検および交換の必要はありません。

さくいん

こんなときは (症状別さくいん).....	98
車から音が鳴ったときは (音さくいん)	100
五十音順さくいん.....	102

こんなときは（症状別さくいん）

お困りの際は、トヨタ販売店にご連絡いただく前にまず次のことを確認してください。

故障かな？と思ったら



ブザーが鳴りだした

- 「車から音が鳴ったときは（音さくいん）」（→ P. 100）をご確認ください。

助手席リフトアップシートについて



助手席リフトアップシートの回転・昇降操作ができない

- 助手席リフトアップシートでシートベルトを着用していませんか？
(→ P. 26, 33)
- 助手席ドアは開いていますか？（→ P. 26, 33）



助手席リフトアップシートが少し反転して停止した

- 助手席リフトアップシート作動中、障害物にあたっていませんか？
(→ P. 33)



助手席リフトアップシートの前後位置・リクライニング調整ができない

- 助手席リフトアップシートは車内に完全格納されていますか？
(→ P. 16, 35)



助手席リフトアップシートが動かない、または作動中に停止した

- 断続的にスイッチを押していませんか？（→ P. 34, 36, 38）
- ヒューズが切れていませんか？（→ P. 74）
- 助手席リフトアップシート操作中に補機バッテリーをはずしていませんか？（→ P. 14）
助手席リフトアップシート操作中に補機バッテリーをはずしたときは、リセット操作が必要になります。（→ P. 81）



助手席リフトアップシートが動かない（ワイヤレスリモコンで操作している場合）

- 車両から離れすぎていませんか？（→ P. 23）
- 周囲の電波状況により、助手席リフトアップシートが作動しなくなることがあります。（→ P. 24）
- 電源スイッチを押してから6秒以内（動作表示LEDが赤色点灯中）に、シート下降スイッチまたはシート上昇スイッチを押していますか？（→ P. 32, 35）



ワイヤレスリモコンの作動可能距離が著しく短くなったり、動作表示LEDが点灯・点滅しなくなった

- 電池を交換してください。（→ P. 78）

手動車いす用収納装置（電動式）について（Bタイプ）



手動車いす用収納装置（電動式）が動かない

- ヒューズが切れていませんか？（→ P. 74）



吊りベルトの出・入が逆の動きをした

- 吊りベルトを引き出しすぎていませんか？（→ P. 80）

車から音が鳴ったときは（音さくいん）

次の状況のとき、車の状態や誤操作などをお知らせするためにブザーが鳴ります。

助手席リフトアップシート操作時

状況	原因	詳細
ワイヤレスリモコンまたはシート昇降スイッチを押したとき	助手席リフトアップシート作動開始	P. 28 P. 32 P. 35 P. 37
	助手席リフトアップシートが車外に下降完了	P. 28 P. 33
	助手席リフトアップシートが車内に格納完了	P. 28 P. 35
ワイヤレスリモコンまたはシート昇降スイッチを押しても助手席リフトアップシートが動かないとき	助手席ドアを閉めたままシート下降スイッチを押している	P. 28 P. 33
	助手席リフトアップシートでシートベルトを着用したままシート下降スイッチを押している	P. 28 P. 33
助手席リフトアップシートが少し反転して停止したとき	助手席リフトアップシートが作動中、障害物にあたるなど助手席リフトアップシートの作動がさまたげられた	P. 28 P. 36

助手席ドア開閉時

状況	原因	詳細
助手席ドアを閉めたとき	助手席リフトアップシートの格納が不完全	P. 28 P. 36

シートベルト着用時

状況	原因	詳細
助手席リフトアップシートでシートベルトを着用したとき	助手席リフトアップシートの格納が不完全	P. 28 P. 36

五十音順さくいん

あ

アームレスト	20
安全ドライブのために	
車いす・手動車いす用	
収納装置（B タイプ）の	
固定について	13
助手席リフトアップシートに	
ついて	8
補機バッテリーについて	14

か

ガードマット	43, 47, 50, 62
--------------	----------------

き

緊急時の対処法	
助手席リフトアップシートが	
車外に出た状態で	
動かないときは	81

く

車いす	
解除のしかた	47, 64
固定のしかた	45, 56
収納可能なサイズ	41
収納・固定前の準備	40
収納のしかた	43, 50
ラゲージルーム外に	
出すときは	47, 62
ラゲージルーム内に収納・	
固定しないときは	48, 67
ラゲージルーム内に収納・	
固定するときは	44, 52
車いす固定ベルト	44, 45, 52, 56

こ

故障かな？とお考えになる前に	
手動車いす用収納装置	
（電動式）が動かない	
ときは（B タイプ）	80
助手席リフトアップシート	
が動かないときは	77
ヒューズの交換	74
ワイヤレスリモコンの	
電池交換	78

し

シート昇降スイッチ	37
シート前後スライドスイッチ	16
シートリクライニングスイッチ	16
収納可能な車いすのサイズ	41
手動車いす用固定装置	
ガードマット	43, 47, 50, 62
解除のしかた	47, 64
車いす固定	
ベルト	44, 47, 52, 64
固定後、走行する前に	45, 57
固定のしかた	45, 56
収納・固定前の準備	40
手動車いす用収納装置（電動式）	
アーム	51, 63
アームロック解除レバー	51, 63
動かないときは	80
回転ロックハンドル	51, 63
格納のしかた	56, 68
車いすの吊り上げ	53, 65
収納のしかた	50
セットのしかた	51, 63

操作スイッチ	53, 65
吊りベルト	53, 65
吊りベルトの出・入が	
逆の作動をしたときは	80
ラゲージルーム外に	
出すときは	62
使用工具について	86
助手席リフトアップシート	
アームレスト	20
動かないときは	81
シート昇降スイッチでの	
操作	37
シート前後スライド	
スイッチ	16
シートリクライニング	
スイッチ	16
車外に出すときは	32
車内にもどすときは	35
手動で車内に	
格納させるときは	86
操作をするときは	26
正しい乗車姿勢	22
フットレスト	21
ヘッドレスト	18
リセットについて	81
スイッチを押しても	
助手席リフトアップシートが	
動かないとき	86

た	
正しい乗車姿勢	22

て	
定期点検整備記録簿	巻末
デッキボードの開閉	
(B タイプ)	70
点検・整備項目	
定期点検整備	96

ひ	
ヒューズ	
助手席足元ヒューズボックス	75
助手席リフトアップシート	
左側下部	74
補機バッテリー部	
(B タイプ)	75

ふ	
ブザー	28
フットレスト	21

ヘ	
ヘッドレスト	18

ほ	
補機バッテリーの	
取り扱いについて	14

ま

- 万一の場合には
故障かな?と
お考えになる前に 74

ら

- ラゲージルーム内装備
デッキボードを開閉するときは
(B タイプ) 70

り

- リセットについて 81

わ

- ワイヤレスリモコン
各部の名称 23
作動可能範囲 23
電池交換 78

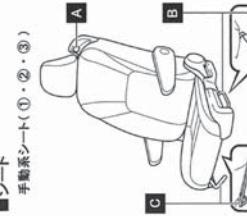
ウェルキャブシリーズ

12か月定期点検整備記録簿

該当なし	異常なし	レ	交換	×	繕付	T	清掃	C
調整	A	修理	△	給油	L	省略	P	

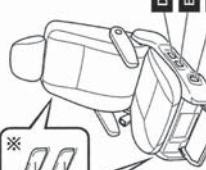
点検の結果および整備の概要

シート

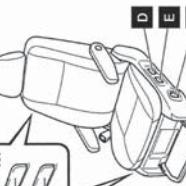
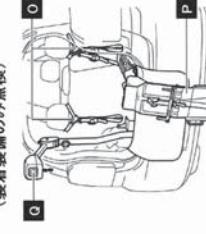


手動系シート(①・②・③)

電動系シート(④・⑤・⑥)



脱着系シート(⑦・⑧・⑨)

■■■いす収納装置
(装着装置のみ点検)

D シートリクライニングスイッチ ※

リクライニング作動時の引っかかり、異音

E シート前後スライドスイッチ

スライド作動時の引っかかり、異音

F シート昇降スイッチ

昇降作動時の引っかかり、異音

G 収納状態、下降、チルトダウン状態

収納状態、下降時の引っかかり、異音

H 収納動作取付部のゆるみ、ガタ

収納動作取付部のゆるみ、ガタ、異音

I ベルトの傷、ほつれ

ベルトの傷、ほつれ

J ベルトの傷、ほつれ

ベルトの傷、ほつれ

K ベルトの傷、ほつれ

ベルトの傷、ほつれ

L ベルトの傷、ほつれ

ベルトの傷、ほつれ

M ベルトの傷、ほつれ

ベルトの傷、ほつれ

N ベルトの傷、ほつれ

ベルトの傷、ほつれ

O ベルトの傷、ほつれ

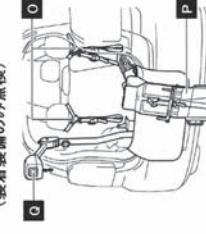
ベルトの傷、ほつれ

P ベルトの傷、ほつれ

ベルトの傷、ほつれ

Q ベルトの傷、ほつれ

ベルトの傷、ほつれ

■■■いす収納装置
(装着装置のみ点検)

D シートリクライニングスイッチ(④・⑤・⑥)

リクライニング作動時の引っかかり、異音

E シート前後スライドスイッチ

スライド作動時の引っかかり、異音

F シート昇降スイッチ

昇降作動時の引っかかり、異音

G 収納状態、下降、チルトダウン状態

収納状態、下降時の引っかかり、異音

H 収納動作取付部のゆるみ、ガタ

収納動作取付部のゆるみ、ガタ、異音

I ベルトの傷、ほつれ

ベルトの傷、ほつれ

J ベルトの傷、ほつれ

ベルトの傷、ほつれ

K ベルトの傷、ほつれ

ベルトの傷、ほつれ

L ベルトの傷、ほつれ

ベルトの傷、ほつれ

M ベルトの傷、ほつれ

ベルトの傷、ほつれ

N ベルトの傷、ほつれ

ベルトの傷、ほつれ

O ベルトの傷、ほつれ

ベルトの傷、ほつれ

P ベルトの傷、ほつれ

ベルトの傷、ほつれ

Q ベルトの傷、ほつれ

ベルトの傷、ほつれ

■その他必要ととなった点検整備の内容
及び主な交換部品

① 助手席回転シート車	⑥ サイドワントラブルシート車 装着車
② 助手席スライドシート車	⑦ サイドワントラブルシート車 (筋音タイプ)
③ 助手席回転チルトシート車	⑧ サイドアクセス車 脱着シート仕様
④ 助手席リフトアップシート車	⑨ サイドアクセス車 (専用車いす仕様)
⑤ サイドアクセス車 (装着車)	

※:車種に本引換当しない場合があります。

※:車種に本引換当しない場合があります。

※:車種に本引換当しない場合があります。

※:車種に本引換当しない場合があります。

※:車種に本引換当しない場合があります。

※:車種に本引換当しない場合があります。

原紙、お客操作

コピーリンク、工場控

※:車種に本引換当しない場合があります。

※:車種に本引換当しない場合があります。

※:車種に本引換当しない場合があります。

※:車種に本引換当しない場合があります。

※:車種に本引換当しない場合があります。

原紙、お客操作

コピーリンク、工場控

お問い合わせ、ご相談は
下記へお願ひいたします。

トヨタ自動車株式会社 お客様相談センター
全国共通・フリーコール

0800-700-7700
フリーコール

オーブン時間 365日 9:00~18:00

所在地 〒450-8711 名古屋市中村区名駅4丁目7番1号

ご愛用車のお問い合わせは、自動車検査証（車検証）を
ご用意頂くとスムーズな対応が可能です。

「個人情報保護方針」については、
<http://www.toyota.co.jp> にて掲載しております。

「リコール等情報」については、
<http://toyota.jp/recall/index.html> にて掲載して
おります。

トヨタ自動車株式会社
<http://toyota.jp>

トヨタ ウェルキャブシリーズ



1855304
11-2019年3月4日
2019年3月11日 初版
プリウス *a*
助手席リフトアップシート車